

スタンドアロン NVR シリーズ

日本語ユーザー・マニュアル

2.1.0.51

1.0 はじめに	6
1.1 ハードウェアの仕様	8
DS-4200 Pro シリーズ	8
1.2 LED インディケータ	9
DS-4200 Pro シリーズ	9
1.3 デュアル・モニター仕様：HDMI/VGA/DVI-I	10
2.0 NVR の準備	12
2.1 クライアント PC 要求仕様	12
2.2 NVR への接続	13
2.2.1 クイック・ガイド	13
2.2.2 EZ Search のインストール	13
2.2.3 S-NVR デコーダーのインストール	22
2.2.4 ユーザー・マニュアル	23
2.2.5 Browse CD	23
2.2.6 ライブ表示の実行	24
3.0 PC での操作	26
3.1 ライブ表示	26
3.1.1 表示モードの選択	26
3.1.2 ライブ表示の主な機能	27
3.1.3 映像ウィンドウ上の右クリック	37
3.1.4 マルチ・サーバー	39
3.2 録画再生	40
3.2.1 録画再生の準備	40
3.2.2 録画再生の主な機能	44
3.2.3 ファイルのエクスポート	47
3.3 映像ファイルの再生	48
3.3.1 Windows ネットワーク	48
3.3.2 FTP サービス	51

4.0 ローカル・ディスプレイでの操作	52
4.1 NVR へのログイン	52
4.1.1 匿名ログイン	53
4.1.2 バーチャル・キーボード	54
4.2 ライブ表示	55
4.2.1 ライブ表示モードの選択	55
4.2.2 ライブ表示の主な機能	56
4.3 録画再生	55
4.3.1 録画再生の準備	62
4.3.2 録画再生の主な機能	64
4.3.3 オーディオ再生	66
4.3.4 ファイルのエクスポート	68
4.3.5 スナップショット	69
4.4 その他	70
4.4.1 ローカル・ディスプレイのスナップショット	70
4.4.2 システムのアップグレード	70
4.4.3 USB バックアップ	70
5.0 設定	72
5.1 カメラ設定	72
5.1.1 カメラ設定	72
5.1.2 録画／ライブ表示設定	78
5.1.3 カメラの状態	80
5.2 録画とイベント	81
5.2.1 録画モード	81
5.2.2 録画スケジュール	82
5.2.3 イベントと動作の管理	84
5.2.4 詳細設定	91
5.2.5 イベントのスケジュール	92
5.2.6 E メール	94
5.3 ディスク管理	95

5.3.1 ディスク管理	95
5.3.2 ファイル・システム管理	95
5.3.3 ファイル共有サービス	96
5.4 クラウド	98
5.4.1 Dropbox の設定	98
5.4.2 Dropbox サーバーへの共有ファイルの移動	99
5.4.3 設定の削除とオンライン同期	100
5.5 ネットワーク設定	101
5.5.1 ネットワークのセットアップ	101
5.5.2 ネットワーク・サービス	103
5.5.3 DDNS	104
5.6 管理	106
5.6.1 ユーザー管理	107
5.6.2 ログ・システム	108
5.6.3 設定の保存と読み込み	111
5.6.4 USB バックアップ	112
5.6.5 外部 IO 機器	116
5.6.6 UPS 管理	117
5.7 システム	118
5.7.1 デバイス情報	118
5.7.2 システムのアップグレード	119
5.7.3 言語	121
5.7.4 日付と時刻	121
5.7.5 ブザー	122
5.7.6 再起動とシャットダウン	123

1.0 はじめに

本製品をお使いになる前に

本製品を開梱後、すべての同梱品が、全て揃っているかご確認ください。
また、準備中のトラブルを避けるため、必ずマニュアルの内容をご確認ください。

1.1 ハードウェアの仕様

DS-4200Pro シリーズ



①LED インディケーター : LAN / eSATA / HDD1 / HDD2 / HDD3 / HDD4

②電源ボタン

③USB バックアップ・ボタン

④USB 2.0 x1 (自動バックアップで使用)

⑤USB 2.0 x 2

⑥HDD1

⑦HDD2

⑧HDD3

⑨HDD4

⑩ギガビット LAN

⑪USB 2.0 x 4

⑫eSATA x 2 (拡張用)

⑬VGA x 1

⑭HDMI x 1

⑮DI/DO (入力 4 / 出力 2)

※上から下に : Vcc5V / GND / DI-1 / DI-2 / DI-3 / DI-4 / DO-1 / DO-2

⑯リセット・ボタン

⑰電源コネクター

⑱K ロック用スロット

1.2 LED インディケーター DS-4200Pro シリーズ



図 2-5 : DS-4200Pro シリーズの正面と RJ-45 ポート

正面の LED の状態 :

LED	LED の色と状態	意味
LAN	消灯	LAN が接続していない状態
	オレンジ	LAN 接続が確立している状態
	オレンジ点滅	LAN にアクセスしている状態
eSATA	消灯	データの転送がない状態
	オレンジ点滅	eSATA 機器にアクセスしている状態
HDD1	消灯	HDD が装着されていない状態
HDD2	グリーン	HDD がアクセス可能な状態
HDD3	グリーン点滅	HDD のデータにアクセスしている状態
HDD4	レッド	HDD が故障して取り外しが必要な状態
電源	消灯	電源オフの状態
	グリーン	電源オンの状態
バックアップ	消灯	USB 機器がない状態
	ブルー	USB 機器がアクセス可能な状態
	ブルー点滅	USB 機器へデータがコピーされている状態
	レッド	バックアップでエラーが発生した状態

背面 RJ-45 の LED の状態 :

LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity (右側)	消灯	LAN が接続していない状態
		イエロー	LAN 接続が確立している状態
		イエロー点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN	Speed (左側)	消灯	10M / 100M 接続か未接続の 状態
		オレンジ	1000M 接続の状態

注意 :

- * USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上、押してください。
- * NVR の電源をオフにする時は電源ボタンを 2 秒以上、押してください。
- * NVR の電源をオンにする時は電源ボタンを 3 秒以上、押してください。

1.3 デュアル・モニター仕様：HDMI/VGA/DVI-I

DS-4200Pro シリーズ、DS-4200-RM Pro シリーズ、DS-8200-RM Pro シリーズは映像出力用に HDMI と VGA ポートを持ちます。その両方にローカル・ディスプレイを接続し、同時に映像を出力することが可能です。

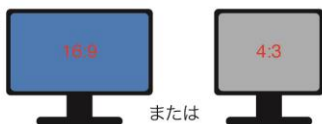
DS-1100Pro シリーズと DS-2100Pro シリーズは映像出力用に HDMI と DVI-I ポー誌を持ちます。その両方にローカル・ディスプレイを接続し、同時に映像を出力することが可能です。

組み合わせ A：ディスプレイが 2 台ともフル HD（1920 x 1080）解像度の場合、どちらもフル HD で表示されます。

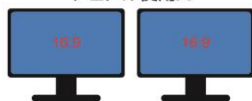
組み合わせ B：ディスプレイが 2 台とも VGA（1024 x 768）解像度の場合、どちらも VGA で表示されます。

組み合わせ C：ディスプレイの 1 台がフル HD、もう 1 台が VGA 解像度の場合、どちらも VGA で表示されます。

ディスプレイ1台のみ接続



デュアル使用A



両方ともフルHD解像度なら
フルHDで表示

デュアル使用B



両方ともVGA解像度なら
VGAで表示

デュアル使用C



どちらかがVGA解像度なら
VGAで表示

2.0 NVR の準備

2.1 クライアント PC の要求仕様

DIGISTOR に接続して使用する PC に最低限必要な仕様は以下の通りです。

- **オペレーティング・システム**

Microsoft Windows 7 professional / 8.1 professional
(32-bit または 64-bit)

- **ブラウザ**

MicrosoftR Internet Explorer 8.0 以降 (32-bit)

- **CPU**

カメラ 16 台以下 : IntelR Dual core CPU 3.0 GHz 以上
カメラ 16 台超 : IntelR i5/i7 CPU 3.3 GHz 以上

- **ネットワーク**

100MB イーサネット (ギガビット・イーサネット推奨)
注意 : カメラと NVR はギガビット・スイッチに接続してください。

- **メモリ**

カメラ 16 台以下 : DDR3 4G 以上
カメラ 16 台超 : DDR3 8G 以上

- **グラフィックカード**

AGP または PCI-Express、1024 x 768 以上の解像度、16 ビット・カラー、メモリ 1GB 以上。

注意 : グラフィック・アダプターは 1024 x 768 以上の解像度推奨。

- ・ディスプレイの DPI 設定の初期値は 96DPI です。
- ・DPI 値を変更する時はデスクトップを右クリックして設定タブ > 詳細 > 一般。

- **CD-ROM ドライブ**

CD-ROM 内のデータ閲覧時に必要になります。

- **Adobe Reader**

マニュアルなどを閲覧するのに必要です。
オーディオ機能を使用するためには PC にサウンド・カードが必要です。

2.2 NVR への接続

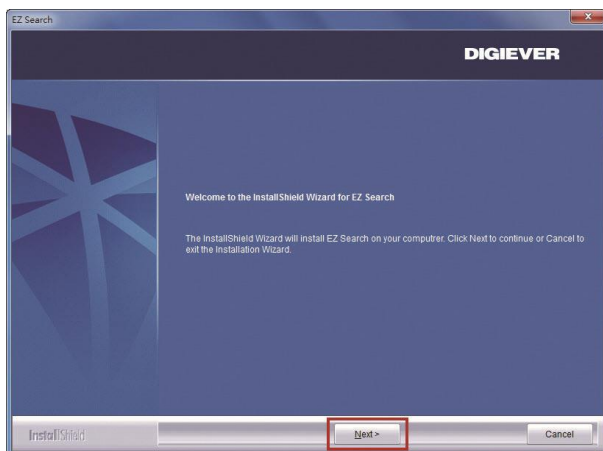
まず、クイック・ガイドやマニュアルを参照したり、ユーティリティをインストールするために PC に CD-ROM を入れます。

2.2.1 クイック・ガイド

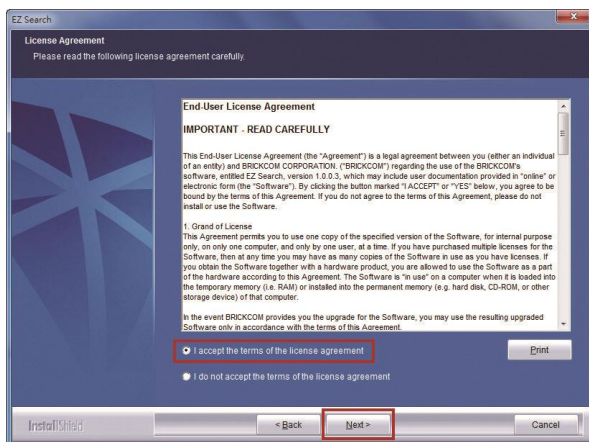
「Quick Guide」をクリックしクイックガイドをご覧ください。

2.2.2 EZ Search のインストール

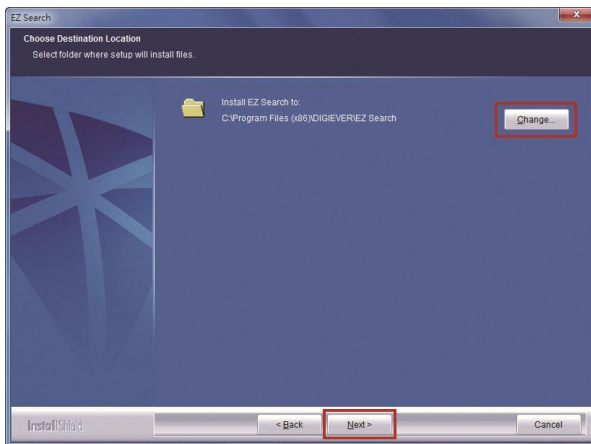
「Install EZ Search」をクリックして NVR 検索ユーティリティを PC にインストールします。



インストールウィザードが起動するので、
「Next」をクリックしてインストールを続行します。



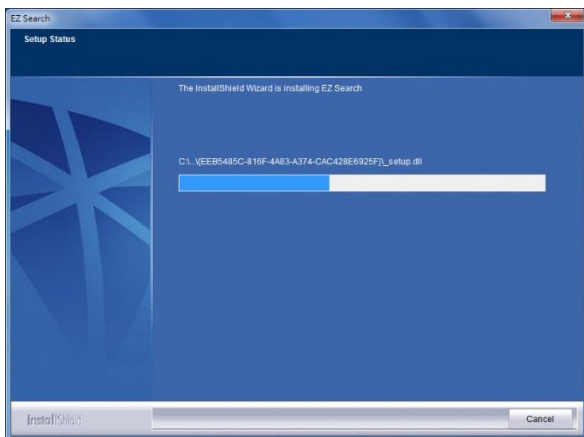
ライセンスの内容を確認の上、「Next」をクリックしてください。



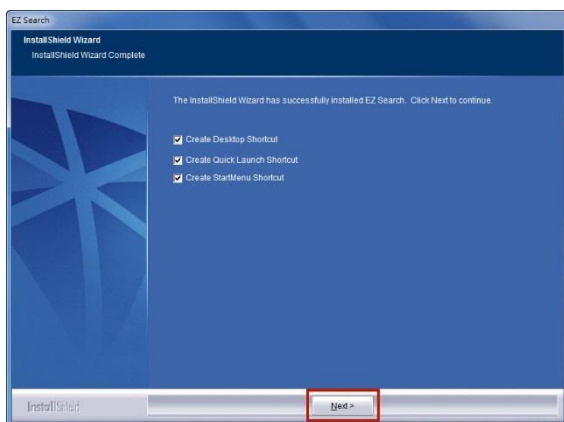
EZ Search は C:\Program Files (x86)\DIGIEVER\EZ Search にインストールされます。インストール先を変更したい時は「Change」をクリックして任意のフォルダにインストールすることも可能です。



インストール先のフォルダを指定したら、「OK」をクリックしてインストール作業を続行します。

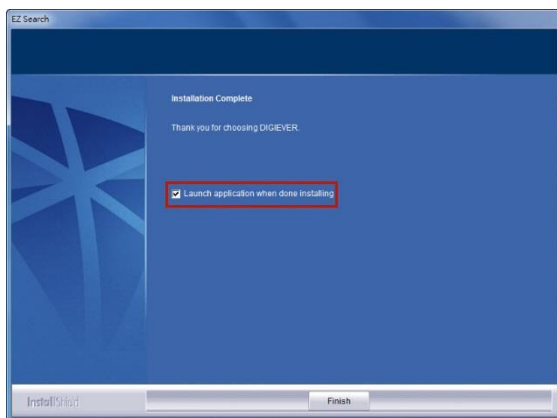


EZ Search のインストール中は、上記のようなウィンドウが表示されます。インストールが完了するまでお待ちください。

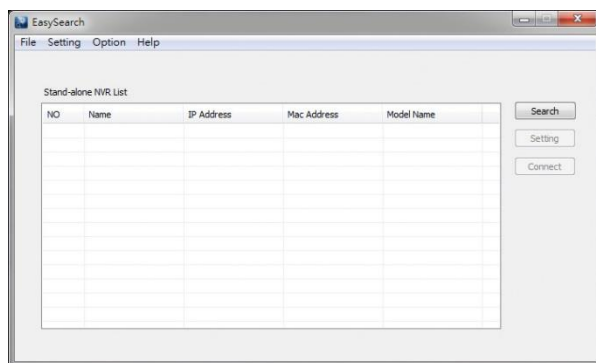


インストールが完了しました。

「Create Desktop Shortcut」「Create Quick Launch Shortcut」「Create Start Menu Shortcut」を選択して「Next」をクリックします。



「Launch application when done installing」にチェックを入れ、「Finish」をクリックすると EZ Search が起動します。

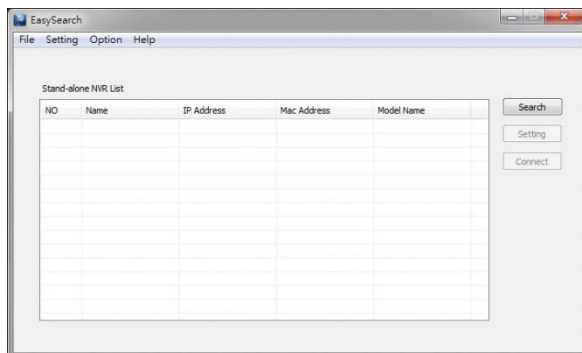


Easy Search は同一サブネット上の DIGISTOR を検出し、名称、IP アドレス、Mac アドレス、機種名を表示します。「Search」をクリックすると検出を開始します。

EZ Search の使い方

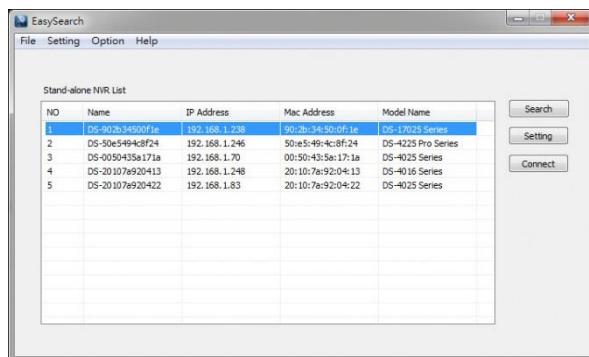
EZ Search 上の 3 つのツールバー

1. ファイル



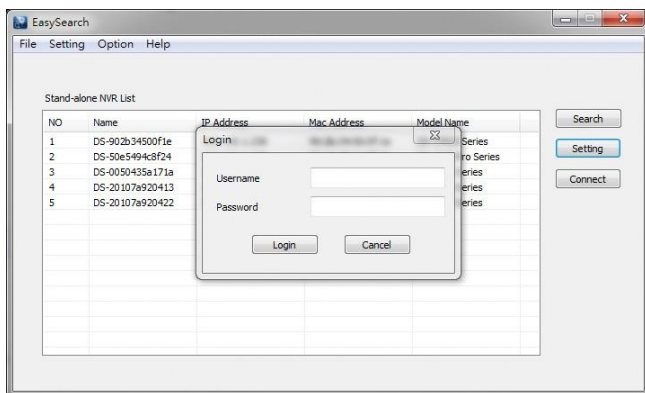
「Exit」をクリックすると EZ Search は終了します。

2. 設定

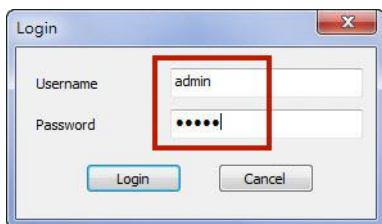


「Setting」をクリックすると NVR の UPNP またはネットワーク設定を変更することができます。

注意：設定を変更するためには、NVR の管理者 ID とパスワードが必要です。

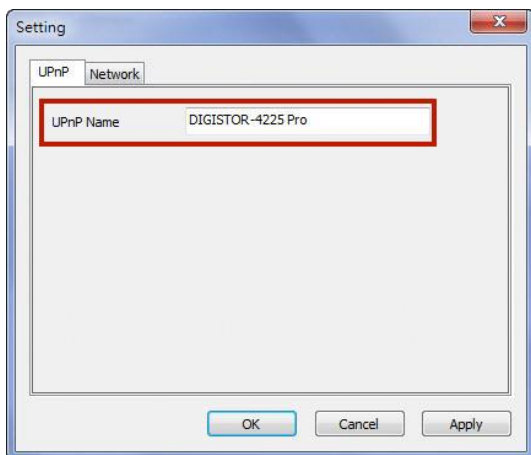


NVR の設定を変更する際、上記のようなダイアログが表示されるので、ユーザー名とパスワードを入力します。入力後「Login」をクリックします。
 ※初期設定：ユーザー名、パスワード共に「admin」



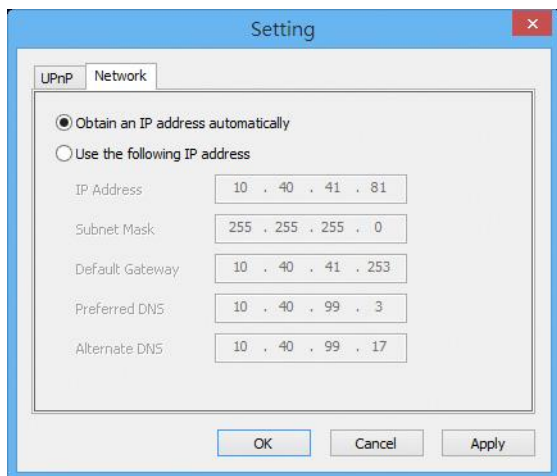
1) UPnP

UPnP(Universal Plug and Play)で表示される名称を変更できます。
 変更後、「Apply」をクリックして設定を適用してください。

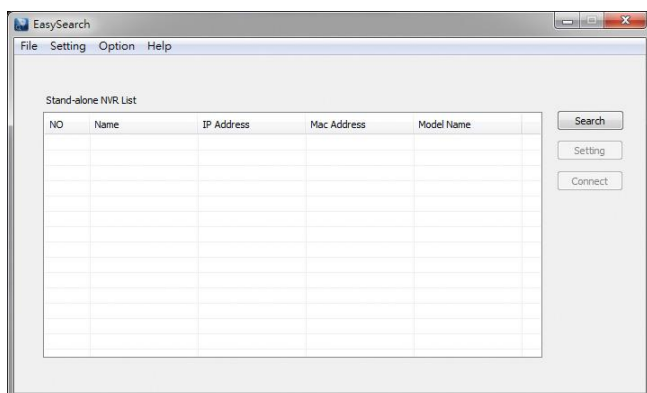


2) ネットワーク

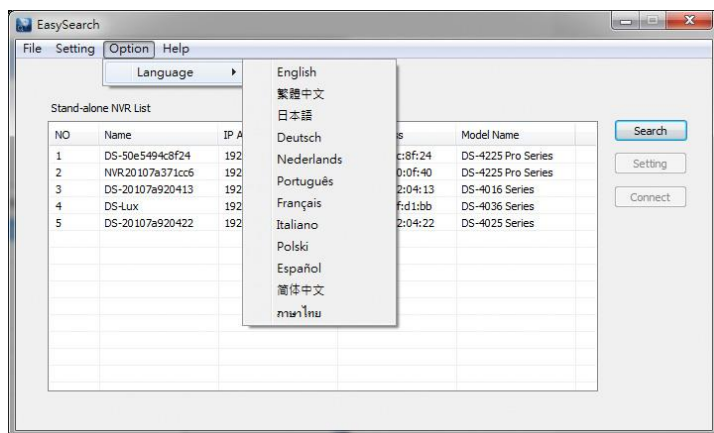
ネットワーク設定では、DHCP による自動取得と固定 IP の設定による手動設定が選可能です。



3. オプション



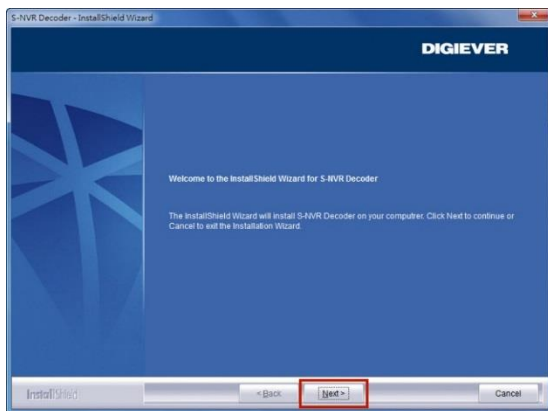
表示言語を変更できます。



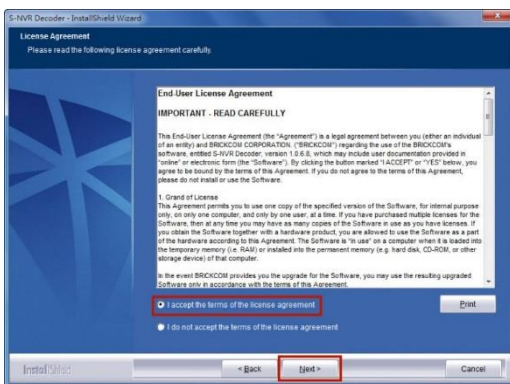
リストにある NVR を選んで「Connect」をクリックするか、NVR 名をダブルクリックすると、ブラウザが立ち上がり NVR に接続します。

2.2.3 S-NVR デコーダーのインストール

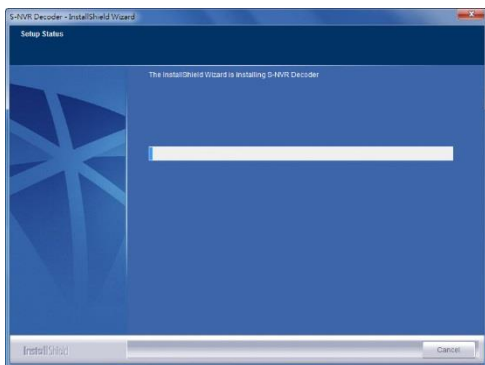
「Install S-NVR Decoder」をクリックし、以下の手順でインストールを行います。



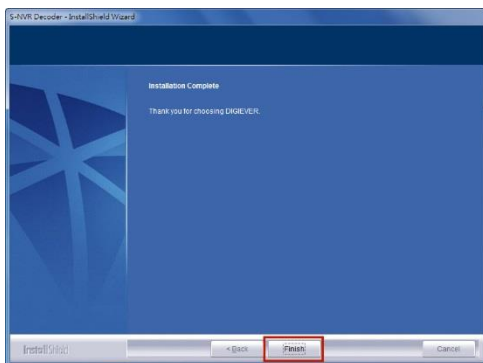
インストールウィザードが起動するので、「Next」をクリックしてインストールを開始します。



ライセンスの内容を確認した上で、「Next」をクリックしてください。



S-NVR デコーダーのインストールが開始されます。



インストールが完了したら「Finish」をクリックしてウィンドウを閉じます

2.2.4 ユーザー・マニュアル

「User Manual」をクリックしてマニュアルを参照できます。

2.2.5 Browse CD

Autorun.exe file があるフォルダを開く時は「Browse CD」をクリックしてください。

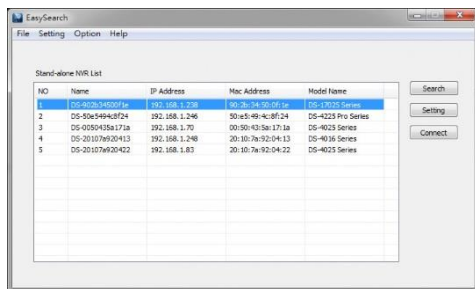
2.2.6 ライブ表示の実行

1.NVR への接続

EZ Search と S-NVR デコーダーのインストールが終わったら、ブラウザを用いて NVR に接続できます。

1) EZ Search を使って接続する

リストから NVR を選んで「Connect」をクリックする、またはリストをダブルクリックすることでブラウザが起動し、NVR へ接続します。



2) ブラウザを立ち上げてから接続する

NVR の IP アドレスを入力して接続してください。

2. ユーザー名とパスワードの入力

ユーザー名、パスワードを入力しログインを行ってください。

3. 表示言語の選択

ドロップダウンリストで言語を指定してください。

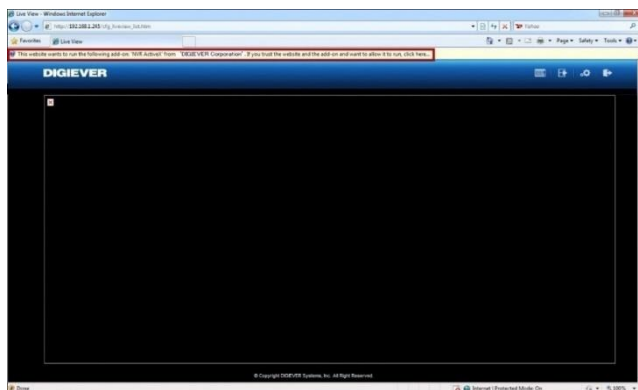


4. ActiveX Control 実行の許可

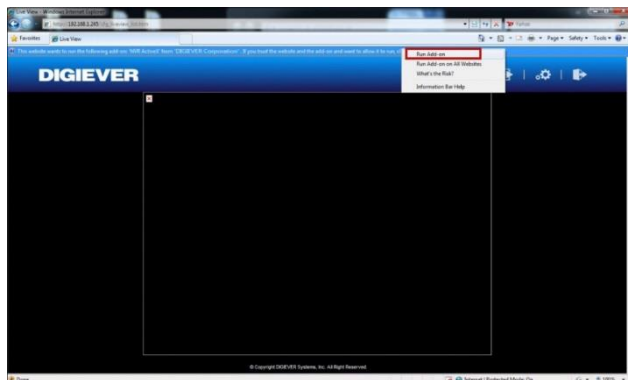
初めて NVR に接続した時、ActiveX Control をインストールする必要があります。

注意：NVR の IP アドレスをブラウザの「信頼済みサイト」に登録してください。

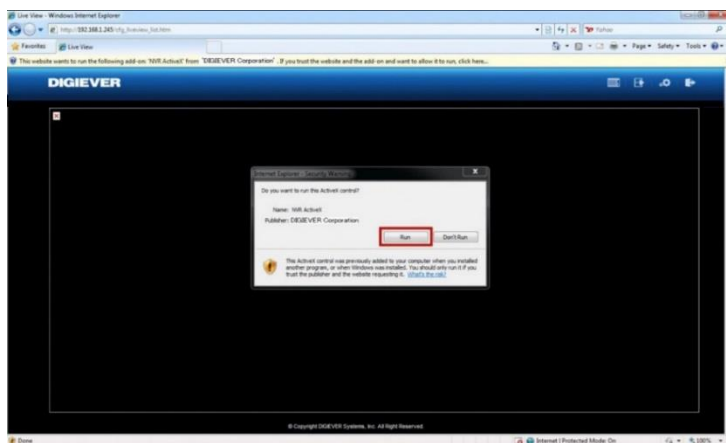
1) 「This website wants to run the following add-on: 'NVR ActiveX' from…」のメッセージを左クリックします。



2) 「Run Add on」を左クリックします。



3) ライセンス済み ActiveX control を使用するため「Run」をクリックします。



Active X をインストールすると PC を使用しモニタリングが行えます。

3.0 PCでの操作





web ブラウザ（Internet Explorer / Chrome / Firefox / Opera）を使って NVR にアクセスして、ライブ映像の表示や録画再生を行えます。

3.1 ライブ表示

3.1.1 ライブ表示モードの選択



右上四つのボタンで表示モードを切り替えます。

モード	内 容
	ライブ表示： ライブ映像を表示します。
	録画再生： 録画した映像を再生するページを表示します。
	設定： カメラ、録画、イベント、管理、ネットワークなど設定するページを表示します。
	ログアウト： NVR からログアウトする時にクリックします。

3.1.2 ライブ表示の主な機能



1. カメラの状態

アイコン	内容
	カメラ名： 映像ウィンドウ左上にカメラの名称が表示されます。「設定 > カメラ > カメラ設定」で名称を変更できます。
	映像圧縮形式： M-JPEG / MPEG-4 / H.264 のいずれかです。
	オーディオ： カメラがオーディオ機能をサポートしている、アイコンが青色で表示されます。サポートしていない時は灰色で表示されます。
	イベント： イベントが発生するとアイコンで通知します。
	録画状態： カメラが録画中かそうでないかを表示します。
	青色の枠： ウィンドウを選択すると枠が青色で強調表示されます。

2.NVR の情報

1) ファームウェア・バージョン

ライブ表示ページに NVR のファームウェア・バージョンが表示されています。



)

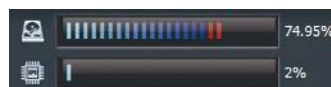
ディスク・CPU 使用量

設定ページへ移動しなくても、ディスクと CPU の使用量を確認できます。



用




量が 70%以下なら青色で、70%以上になると赤色で表示されます。



解像度や FPS、画質の変更、RAID を作成中は CPU の使用量が大きくなります。常時 70%以下になるよう、設定に注意してください。

3.基本機能

アイコン	内 容
	<p>スナップショット： 選択したカメラの静止画像を撮影します。ボタンをクリックするとウィンドウがポップアップします。</p> <p>1) クリップボード 画像をクリップボードにコピーします。コピーしたデータはペイント・ツールなどにペーストできます。</p> <p>2) 保存 画像を設定したフォルダに保存します。</p> 

	<p>3) キャンセル スナップショットした画像を破棄します。</p>
	<p>デジタル・ズームイン / アウト : 選択したカメラのデジタル・ズームを操作します。</p>
	<p>表示停止 : 選択したカメラの表示を停止します。</p>
	<p>全てを表示停止 : 全てのカメラの表示を停止します。</p>
	<p>全てを表示 : 全てのカメラのライブ映像を表示します。</p>
	<p>消音 : カメラのオーディオ・ボリュームをゼロにします。</p>
	<p>日付と時間 : 現在の日付と時間を表示します。</p>

4. リモート IO



をクリックしてカメラの DI / DO（接点入出力）の状態を確認します。



カメラが DI / DO 機能を有していない時は
次のウィンドウが表示されます。



5.表示モード

表示レイアウトを変更できます。アイコンをクリックしてください。
選択中のレイアウトはアイコンが青色で表示されます。

アイコン	内 容
	全画面表示
	シングル表示
	4 分割表示
	9 分割表示
	12 分割表示
	16 分割表示
	20 分割表示

	25 / 30 / 36 / 49 分割表示
	5+1 分割表示
	7+1 分割画面
	12+1 分割画面
	シーケンシャル・モード。特定ページを表示したい時はドロップダウン・メニューから選択してください。ページ切り換え間隔は「オプション > 一般設定」で変更できます。

6.PTZ 制御

PTZ 機能を持つカメラは、ライブ表示ページでその操作を行えます。
以下は制御アイコンですが、カメラの機種によって対応していない機能もあります。

アイコン	内 容
	PTZ 操作： 選択したカメラのパン、チルト、ズーム操作を行えます。クリックした矢印の方向にカメラが向きを変えます。中央の「家（ホーム）」ボタンをクリックすると、ホーム・ポジションに戻ります。
	プリセット・ポジション： カメラにプリセット・ポジションを登録していたら、その位置情報に基づいてカメラの向きを換えます。
	光学ズームイン / アウト： 選択したカメラのズームイン / アウトを制御します。
	スケジュール PTZ（巡回モード）： 巡回するプリセット・ポジションを「セット」で選択します。巡回回数及びプリセット・ポジション間の移動間隔を設定してください。
	スケジュール PTZ（巡回モード）： 「Go」をクリックすると巡回が始まります。

7. イベント・ログ

モーション検知機能を使用している時、検知するとアイコンが点滅します。アイコンをクリックするとログ・ウィンドウがポップアップ

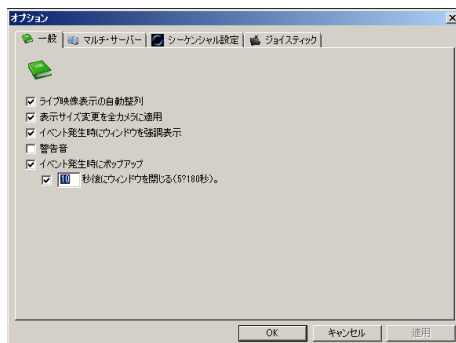


警告音

警告音を有効にしていたら、イベントを検知すると警告音が鳴ります（オプション > 一般設定からも警告音の有効 / 無効を切り換えられます）。

8. オプション

1) 一般設定

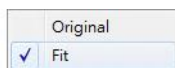
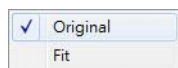


●自動ソート

この機能を有効にすると、表示を停止したカメラのウィンドウが自動的に省略して（＝間を詰めて）表示されます。

●全ての映像サイズを同時に変更

映像ウィンドウ上で右クリックするだけで、全ての映像を「オリジナルのサイズ」または「ウィンドウのサイズ」に切り替えられます。



● **イベント検知時に映像ウィンドウを強調**

モーション検知など、カメラがイベントを検知するとウィンドウが強調表示されます。



当該映像ウィンドウをクリックすると強調表示は終了します。

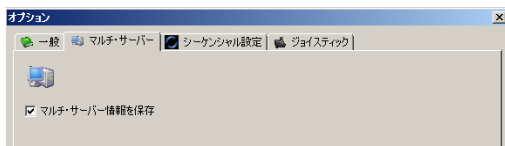


● **警告音**

この機能を有効にすると、カメラがイベントを検知すると警告音が鳴ります。

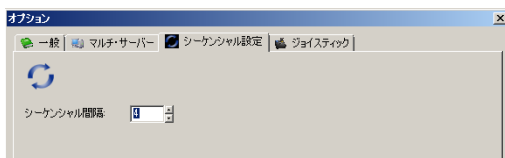
2) マルチ・サーバー設定

マルチ・サーバー情報を保存します。



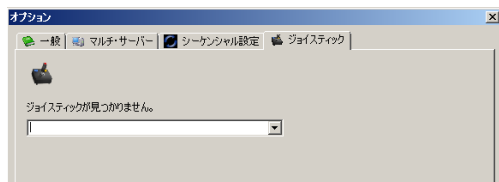
3) シーケンシャル・モード設定

ページの切替間隔（秒単位）を設定します。



4) ジョイスティック設定

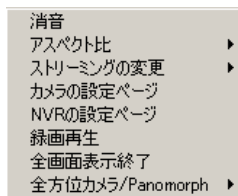
PCにUSB接続されたジョイスティックでPTZカメラを制御できます。ジョイスティックの機種を選択して「適用」をクリックしてください。



ステータス・バーに PTZ アイコンを持つカメラを操作できます。



3.1.3 映像ウィンドウ上の右クリック



1.消音：カメラのオーディオ・ボリュームをゼロにします。

2.映像サイズ：アスペクト比を保つ、またはウィンドウ・サイズに合わせます。

3.ストリーミングの変更：表示しているストリーミングの切り換えを行います。

1) ストリーミング・タイプの切り換え

DIGISTOR はマルチ・ストリームに対応するカメラから、二つの映像ストリームを取得できます。通常、ストリーム 1 は高画質（録画用）、ストリーム 2 は低画質（小サイズのウィンドウ表示用）に使用します。

表示している映像ストリームを切り換える時は、映像ウィンドウ上で右クリックしてストリームをリストから選択してください。



」が有効になっている時は、選択中のレイアウトに合わせて最適のストリームが表示されます。

「最適化」が無効の時は、手動でストリームを選択できます。一度選択したストリームは、レイアウトごととシステムに記憶されます。

2) サーバーからのストリーム

カメラの機種によっては、ストリーム 1 の設定ではストリームを複数配信できないことがあります（NVR が録画するためのものと、大

サイズのウィンドウに表示するためのもの)。その場合、「サーバーからのストリーム 1 配信を有効にする」が選択可能になります。ただしこの機能は NVR のパフォーマンスに影響するため、「最適化」を有効にすることを推奨します。



4.カメラ側設定：カメラの設定ページへ移動します。

5.NVR 側設定：ブラウザの新規ページを開いてカメラ設定ページを表示します。

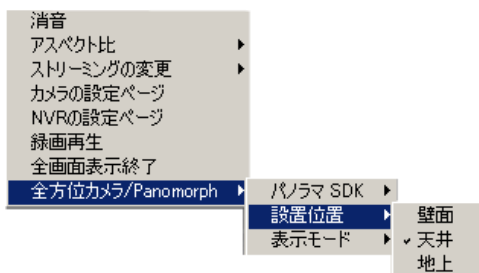
6.録画再生：ブラウザの新規ページを開いて録画再生ページを表示します。

7.全画面表示終了：全画面表示を終了します。

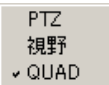
8.魚眼補整モード：全方位カメラ、または ImmerVision レンズを取り付けたカメラの映像を補整する時に使います。

(1) 全方位カメラの補整

a.マウント・タイプを選択します。



b.補整タイプを選択します。



(2) ImmerVision カメラの補整

a.マウント・タイプを選択します。

b.表示タイプを選択します。

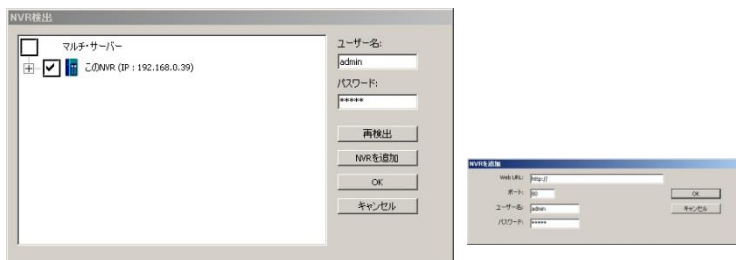
表示タイプを選択すると、それに応じた画面表示になります。

3.1.4 マルチ・サーバー

他の NVR を今アクセスしている NVR に登録して、まとめて管理できます。カメラ・リストの上にあるアイコンをクリックしてください。



NVR がリストに表示されたら、追加したい NVR にチェックを入れ、ユーザー名、パスワードを入力して「OK」をクリックしてください。



自動ではなく手動で追加する時は、「NVR を追加」をクリックしてください。下のウィンドウが表示されたら、NVR のアドレス、ポート番号、ユーザー名とパスワードを入力して「OK」をクリックします。同一 LAN 上以外の NVR もこの方法で追加することができます。

3.2 録画再生

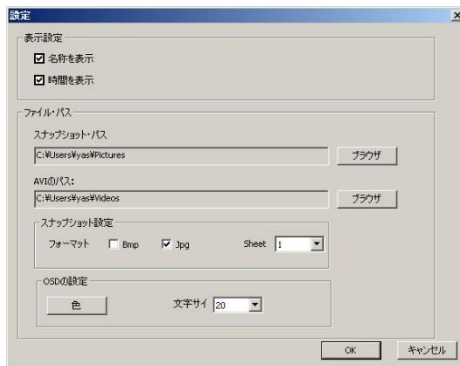
録画再生ページから、NVR に記録した録画映像を再生できます。4 台までのカメラの記録映像を同時に再生できます。

3.2.1 録画再生の準備

録画再生の前に「設定」ボタンをクリックして設定を行います。



●設定: スナップショット撮影した静止画像の保存先や OSD を設定できます。

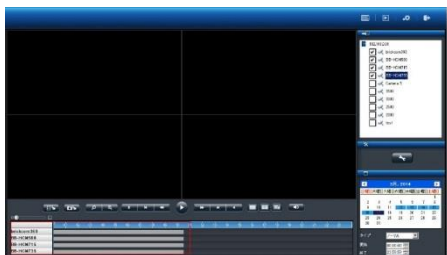


録画再生は次の手順で実行します。

1. 再生したいカメラをリストから選択します。
2. 再生したい日付と時刻を選択します。
3. 再生したい録画映像のタイプを選択します。
4. 「再生」ボタンをクリックします。

1. カメラの選択

4 台以下のカメラを選択して再生できます。



再生したいカメラにチェックを入れると、タイム・テーブルにそのカメラの名称と録画している時間帯を示すグラフが表示されます。

2. 日付と時刻の選択

再生したい日付と時刻を指定してください。選択したカメラが録画を行っている日付がカレンダー上で青色（通常録画）表示されます。再生する日付をカレンダーで指定し、開始時刻と終了時刻を選択します。



3. 録画タイプの選択

録画のタイプには、通常録画（灰色）、イベント録画（赤色）、ビデオ・クリップ（黒色）、修復されたファイル（青色）、夏時間（緑色）があります。選択した録画のタイプによって日付の色が変化します。



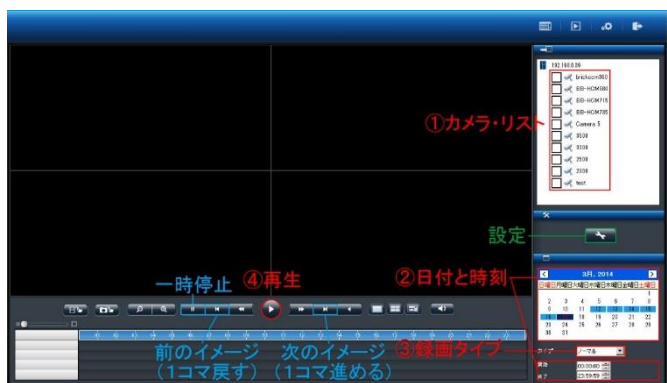
4. 「再生」をクリック

「再生」ボタンをクリックすると再生が始まります。

フレーム単位の再生（コマ送り再生）

1. 上記四つの手順に従います。
2. 「一時停止」ボタンをクリックします。
3. 「1 コマ戻す（前のイメージ）」または「1 コマ進める（次のイ

メージ)」ボタンをクリックします。



●スケール・バー

スケール・バーを操作することでタイム・テーブルの表示を拡大 / 縮小できます。



●スクロール・バー

スクロール・バーを操作することで、任意の時間の録画映像を再生できます。

注意：スクロール・バーは再生中のみ有効になります。



●サムネイル機能

グラフにマウス・オーバーすることでその時間の静止画像が表示されます。

注意：この機能は一時停止中のみ有効です。



3.4.2 録画再生の主な機能



1. 表示モード

各カメラの録画映像の時間は、各グリッドの上段に表示されています。

全画面にする時は、右側のボタンをクリックしてください。1 画面の時は左側、4 分割で再生する時は中央のボタンをクリックしてください。

2. デジタル・ズームイン / アウト

選択したカメラの再生映像を拡大する時に使用します。元のサイズに戻す時はデジタル・ズームアウトを使ってください。

3. 録画再生時のスピード制御



①一時停止：録画再生を一時的に停止します。

②前のイメージ：1 コマ前に戻ります。

③スロー再生：再生速度を落とします。

④再生：録画映像を再生します。

⑤**高速再生**：再生速度を上げます。

⑥**次のイメージ**：1コマ先に進めます。

⑦**逆再生**：録画映像を逆再生します。

再生速度はスクロール・バーの右上に表示されています。



消音

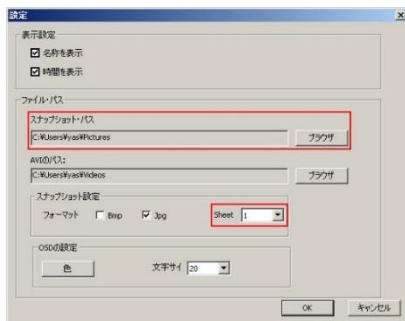
「消音」ボタンをクリックすると、映像だけを録画再生します。ボタンを押すことでオーディオ再生のオン／オフを切り換えられます。

5. スナップショット

「スナップショット」ボタンをクリックすると、選択しているカメラの静止画像を保存します。保存先は「設定」で確認・変更できます。

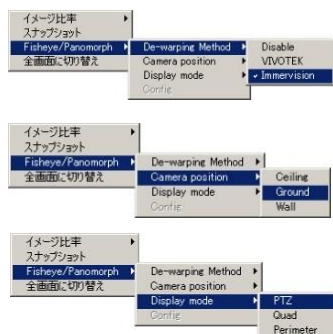
● 録画再生時の連続スナップショット

初期値は「1」です。ドロップ・ダウン・メニューで変更でき、最大5枚の連続静止画像をワン・クリックで撮影できます。



6. 全方位カメラの映像補正

全方位カメラのドライブ・タイプとカメラの設置位置、表示モードを選択します。



7. OSD の色とサイズの変更

録画映像で表示される OSD (On Screen Display) の設定を変更できます。

1) 「設定」をクリックします。



2) 「色」をクリックするとパレットが表示されます。表示したい文字の色を選択してください。



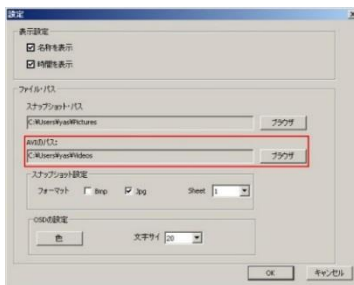
3) 文字のサイズをドロップダウン・メニューから選択してください。

3.2.3 ファイルのエクスポート

エクスポート機能を用いることで、録画映像を NVR から取り出せます。
エクスポートの前に保存先を確認してください。

1) 映像のエクスポート先の決定

「設定」ボタンをクリックして設定ウィンドウを表示してください。
「映像のエクスポート先」に示されるフォルダに保存されます。



2) 録画ファイルの条件指定

カメラ、録画映像のタイプ、日付と時間を選んでからエクスポート・ボタンをクリックしてください。

3) エクスポートのオプション

DIGIPlayer と DIGICheck を録画映像とともにダウンロードするかどうを確認するウィンドウが表示されます。

- DIGIPlayer は NVR に保存された録画映像を再生するプレイヤーです。
- DIGICheck は、録画映像ファイルが DIGISTOR で作成されたものかどうかを確認するためのツールです。

4) エクスポートのキャンセル

データ転送中に「キャンセル」をクリックすることで中止できます。



3.3 映像ファイルの再生

Windows ネットワーク、または FTP サービスを使って映像ファイルにアクセスできます。

注意：使用するサービスは、「ネットワーク共有サービス」ページで有効にしてください。

ファイル共有ページの「リンク」ボタンをクリックすると、ダイアログが開きます。

情報

WindowsネットワークFTPサービス

サービスリスト	状態	動作	リンク
Windowsネットワーク	ON	<div>無効</div>	<div>リンク</div>
FTPサービス	ON	<div>無効</div>	<div>リンク</div>

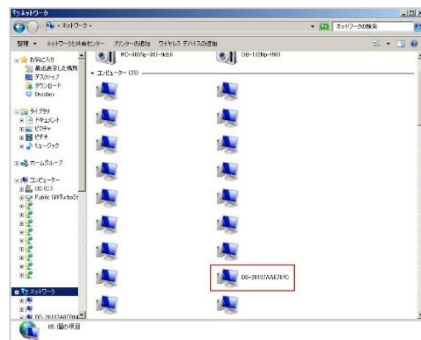
3.3.1 Windows ネットワーク

「スタート」ボタンで NVR のアドレスを入力しても、Windows ネットワークでダイアログを開くことができます。

●NVR の選択

「ネットワーク」フォルダーの「コンピューター」の中から NVR を選択します。

注意：NVR の名称は「サーバー設定」のサーバー名または「機器情報」の MAC アドレスで調べられます。



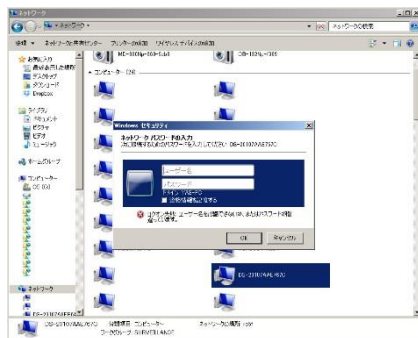
「システム > 機器情報」から NVR の MAC アドレスを確認できます。
コンピューター名は MAC アドレスに基づいたものになります。

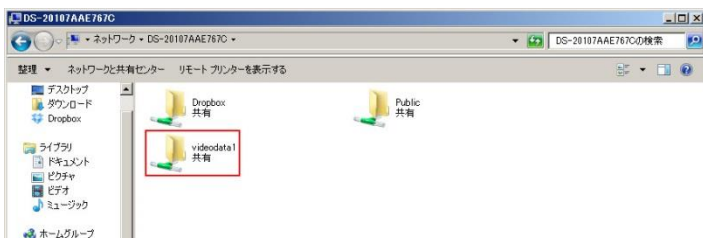
システム情報		エンコーダー情報
情報		
型番	NVR-4216 Pro	
ファームウェアバージョン	2.1.151-rc4	
MAC アドレス	20:10:7a:ae:76:7c, 20:10:7a:ae:76:7d	
OS	Embedded Linux	
OS バージョン	Linux version 3.2.29	
CPU	Intel(R) family	
ネットワークアダプター	Gigabit Ethernet Card 10/100/1000 Mbps	
位置確認	位置確認	

または「ネットワーク設定 > 情報」の「コンピューター名」を確認してください。

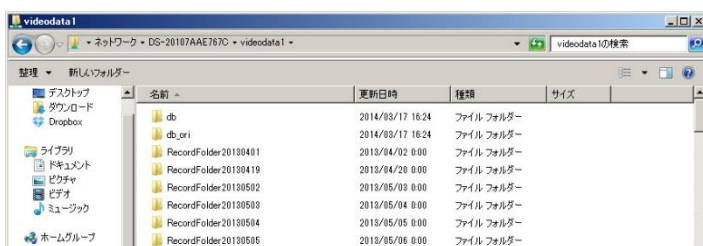
情報	設定	DHCP 設定	ポート設定
LAN 1			
コンピューター名	DS-2010TAAW767c		
IP アドレス	192.168.0.39		
サブネットマスク	255.255.255.0		
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1		
プライマリ DNS サーバー	192.168.0.1		
セカンダリ DNS サーバー			
ネットワークアダプター	LAN 0		

NVR のアイコンをダブルクリックしてください。ユーザー名とパスワードを入力するウィンドウが表示されます。初期値はどちらも「admin」です。





「videodata1」のフォルダーの中に録画映像が保存されています。



フォルダー内には「RecordFolder」という名のフォルダーが時系列で並んでいます。

録画映像は 5 分ごとのファイルで保存されています。再生したいファイルを選んでください。

●IP アドレスの入力

スタート・メニューに「¥¥ (NVR の IP アドレス)」を入力しても、同様に録画ファイルにアクセスできます。

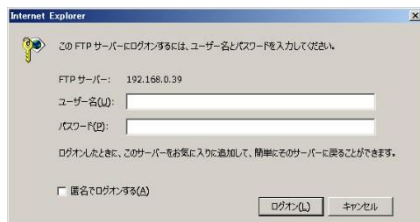


3.3.2 FTP サービス

Internet Explorer を使って FTP サービスを利用できます。アドレス・バーに

ftp:// (NVR の IP アドレス)

を入力して「Enter」を押してください。ユーザー名とパスワードを入力するウィンドウが表示されます。初期値はどちらも「admin」です。



ログオンするとフォルダー一覧が表示されます。「videodata1」をクリックします。



内

には「RecordFolder」という名のフォルダーが時系列で並んでいます。その中に録画ファイルが 5 分ごとに保存されています。



4.0 ローカル・ディスプレイでの操作

HDMI または VGA でモニターを NVR に接続して、クイック設定やライブ表示を行うことができます。

注意：この機能をサポートしているのは DS-1100 Pro、DS-2100 Pro、DS-4200 Pro シリーズと、DS-4200-RM Pro、DS-8200-RM Pro シリーズだけです。

ローカル・ディスプレイを接続する前に、以下の準備を行ってください。

- 1.1 台以上の HDD を NVR に取り付けてください。
2. NVR とカメラをネットワークに接続してください。
3. NVR 背面のポート（HDMI / VGA / DVI-I）とモニターを正しく接続してください。
4. NVR の USB ポートにマウスを接続してください。
5. NVR に電源コードをつなぎ、電源をオンにしてください。
6. NVR にログインする際、ユーザー名とパスワードを入力し（初期値はどちらも「admin」）、表示言語を選択してください。

4.1 NVR へのログイン

ユーザー名とパスワードを正しく入力してください。



解像度：

解像度 1920 x 1080 または 1024 x 768 を選択できます（モニターが対応している場合）。

4.1.1 匿名ログイン

匿名ログインを行えば、ユーザー名とパスワードを入力する必要がありません。



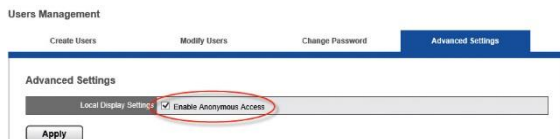
The screenshot shows a login window with the following fields and options: 'ユーザー名' (Username) and 'パスワード' (Password) input fields, a checked checkbox for '匿名アクセス' (Anonymous Access), an unchecked checkbox for 'ユーザー名とパスワードを保存' (Save username and password), a language dropdown set to '日本語' (Japanese), a 'ログイン' (Login) button, a 'キャンセル' (Cancel) button, and a resolution dropdown set to '1920x1200'.

匿名ログインした時はライブ表示と録画再生は行えますが設定ページへは移動できません。匿名ログインが行われたことはログに記録されます。

匿名ログインを有効にする

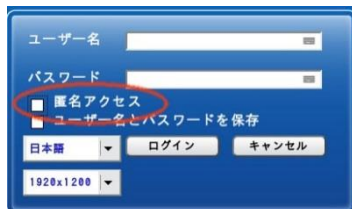
A. PC で NVR にログインして、「設定 > 管理 > ユーザー管理 > 詳細設定」へ移動します。

B. 「匿名ログインを有効にする」にチェックを入れます。



The screenshot shows the 'Users Management' section with tabs for 'Create Users', 'Modify Users', 'Change Password', and 'Advanced Settings'. The 'Advanced Settings' tab is active, showing 'Local Display Settings' and 'Enable Anonymous Access' (which is checked and circled in red). An 'Apply' button is at the bottom.

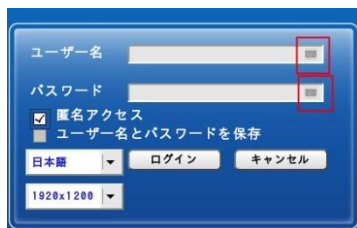
C. ローカル・ディスプレイのログイン画面で匿名ログインが可能になります。



The screenshot shows the local display login window, identical to the one in the first image, but with the '匿名アクセス' (Anonymous Access) checkbox selected (checked) and circled in red.

4.1.2 バーチャル・キーボード

文字入力の必要がある時、USB キーボードを NVR の USB に接続するか、バーチャル・キーボードを使ってください。バーチャル・キーボードは、各コラムの右側にアイコンが用意されています。



バーチャル・キーボードには小文字、大文字、記号の 3 モードがあります。







4.3 ライブ表示

クイック設定が完了したら、IP カメラの映像が見られるようになります。ライブ表示ページでは、登録したカメラのライブ映像の表示と PTZ 制御が可能です。

4.3.1 ライブ表示モードの選択



右上四つのボタンで表示モードを切り替えます。

モード	内 容
	ライブ表示： ライブ映像を表示します。
	録画再生： 録画した映像を再生するページを表示します。
	設定： カメラ、録画、イベント、管理、ネットワークなど設定するページを表示します。
	ログアウト： NVR からログアウトする時にクリックします。

4.3.2 ライブ表示の主な機能



1. カメラの状態

アイコン	内 容
	カメラ名： 映像ウィンドウ左上にカメラの名称が表示されます。 「設定 > カメラ > カメラ設定」で名称を変更できます。
	映像圧縮形式： M-JPEG / MPEG-4 / H.264 のいずれかです。
	オーディオ： カメラがオーディオ機能をサポートしていると、アイコンが青色で表示されます。サポートしていない時は灰色で表示されます。
	イベント： イベントが発生するとアイコンで通知します。
	録画状態： カメラが録画中かそうでないかを表示します。
	青色の枠： ウィンドウを選択すると枠が青色で強調表示されます。

2. NVR の情報

1) ファームウェア・バージョン

ライブ表示ページに NVR のファームウェア・バージョンが表示されています。

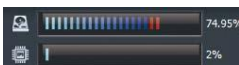


2) ディスク・CPU 使用量

設定ページへ移動しなくても、ディスクと CPU の使用量を確認できます。










使用量が 70%以下なら青色で、70%以上になると赤色で表示されます。



解像度や FPS、画質の変更や、RAID を作成中は CPU の使用量が大きくなります。常時 70%以下になるよう、設定に注意してください。

3. 基本機能



アイコン	内 容
	スナップショット： 選択したカメラの静止画像を撮影します。「Public > liveview_snapshot」に保存されます。Windows ネットワークまたは FTP でアクセスできます。
	デジタル・ズームイン / アウト： 選択したカメラのデジタル・ズームを操作します。
	表示停止： 選択したカメラの表示を停止します。
	全てを表示停止： 全てのカメラの表示を停止します。

	全てを表示： 全てのカメラのライブ映像を表示します。
	消音： カメラのオーディオ・ボリュームをゼロにします。
	日付と時間： 現在の日付と時間を表示します。

4.表示モード

表示レイアウトを変更できます。アイコンをクリックしてください。
選択中のレイアウトはアイコンが青色で表示されます。

アイコン	内 容
	全画面表示
	シングル表示
	4 分割表示
	9 分割表示
	12 分割表示
	16 分割表示
	20 分割表示
	25 分割表示

	5+1 分割表示
	シーケンシャル・モード。特定ページを表示したい時はドロップダウン・メニューから選択してください。

5.PTZ 制御

PTZ 機能を持つカメラは、ライブ表示ページでその操作を行えます。
以下は制御アイコンですが、カメラの機種によって対応していない機能もあります。

アイコン	内 容
	PTZ 操作： 選択したカメラのパン、チルト、ズーム操作を行えます。クリックした矢印の方向にカメラが向きを変えます。中央の「家（ホーム）」ボタンをクリックすると、ホーム・ポジションに戻ります。
	プリセット・ポジション： カメラにプリセット・ポジションを登録していたら、その位置情報に基づいてカメラの向きを換えます。
	光学ズームイン / アウト： 選択したカメラのズームイン / アウトを制御します。
	スケジュール PTZ（巡回モード）： 巡回するプリセット・ポジションを「セット」で選択します。巡回回数及びプリセット・ポジション間の移動間隔を設定してください。
	スケジュール PTZ（巡回モード）： 「Go」をクリックすると巡回が始まります。

6. イベント・ログ

モーション検知機能を使用している時、検知するとアイコンが点滅します。アイコンをクリックするとログ・ウィンドウがポップアップします。



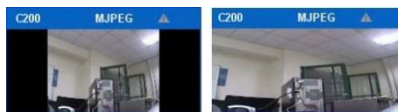
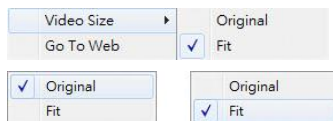
7. オプション

警告設定やウィンドウ設定、シーケンシャル・モード設定など、ライブ表示全般の設定を行います。

1) 一般設定

- 全ての映像サイズを同時に変更

映像ウィンドウ上で右クリックするだけで、全ての映像を「オリジナルのサイズ」または「ウィンドウのサイズ」に切り替えられます。



- イベント検知時に映像ウィンドウを強調

モーション検知など、カメラがイベントを検知するとウィンドウが強調表示されます。



当該映像ウィンドウをクリックすると強調表示は終了します。



2) シーケンシャル・モード設定

ページの切換間隔（秒単位）を設定します。

8.ストリーミング・タイプの切り換え

DIGISTOR はマルチ・ストリームに対応するカメラから、二つの映像ストリームを取得できます。通常、ストリーム 1 は高画質（録画用）、ストリーム 2 は低画質（小サイズのウィンドウ表示用）に使用します。

表示している映像ストリームを切り換える時は、映像ウィンドウ上で右クリックしてストリームをリストから選択してください。

「最適化」が有効になっている時は、選択中のレイアウトに合わせて最適のストリームが表示されます。

「最適化」が無効の時は、手動でストリームを選択できます。一度選択したストリームは、レイアウトごとシステムに記憶されます。

4.4 録画再生

録画再生ページから、NVR に記録した録画映像を再生できます。4 台までのカメラの記録映像を同時に再生できます。

4.4.1 録画再生の手順

録画再生は次の手順で行います。



1. 再生したいカメラをリストから選択します。
2. 再生したい日付と時刻を選択します。
3. 再生したい録画映像のタイプを選択します。
4. 「再生」ボタンをクリックします。

録画映像のタイプの違い：

通常録画：連続録画やスケジュール録画など、いわゆる「ベタ録り」された映像です。

イベント録画：モーション検知など、イベントによって実行された録画映像です。

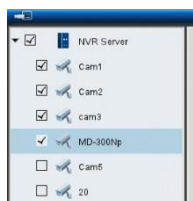
ビデオ・クリップ：イベント録画によってメール送信されたビデオ・クリップです。

修復されたファイル：録画ファイルは 5 分単位で作成されますが、途

中で録画設定を変更したり電源をオフにしたりした場合など、5 分未満のファイルが作成されます。5 分に満たない不完全なデータが「修復されたファイル」になります。

重複する時間帯：時刻同期の結果、同じ時刻データを有することになった録画ファイルを指します。

1. カメラの選択



4 台以下のカメラを選択して再生できます。

2. 日付と時刻の選択



再生したい日付と時刻を指定してください。選択したカメラが録画を行っている日付がカレンダー上で青色（通常録画）表示されます。再生する日付をカレンダーで指定し、開始時刻と終了時刻を選択します。

3. 録画タイプの選択

録画のタイプには、通常録画（灰色）、イベント録画（赤色）、ビデオ・クリップ（黒色）、修復されたファイル（青色）、重複している時間帯（緑色）があります。選択した録画のタイプによって日付の色が変化します。

4. 「再生」をクリック

「再生」ボタンをクリックすると再生が始まります。

フレーム単位の再生（コマ送り再生）

1. 上記四つの手順に従います。

2. 「一時停止」 ボタンをクリックします。
3. 「1 コマ戻す (前のイメージ)」または「1 コマ進める (次のイメージ)」 ボタンをクリックします。

フレーム単位の再生 (コマ送り再生)

1. 上記四つの手順に従います。
2. 「一時停止」 ボタンをクリックします。
3. 「1 コマ戻す (前のイメージ)」または「1 コマ進める (次のイメージ)」 ボタンをクリックします。



4.4.2 録画再生の主な機能



1.表示モード

各カメラの録画映像の時間は、各グリッドの上段に表示されています。

全画面にする時は、右側のボタンをクリックしてください。1 画面の時は左側、4 分割で再生する時は中央のボタンをクリックしてください。

2.デジタル・ズームイン / アウト

選択したカメラの再生映像を拡大する時に使用します。元のサイズに戻す時はデジタル・ズームアウトを使ってください。

3.録画再生時のスピード制御



①一時停止：録画

再生を一時的に停止します。

②前のイメージ：1 コマ前に戻ります。

③スロー再生：再生速度を落とします。

④再生：録画映像を再生します。

⑤高速再生：再生速度を上げます。

⑥次のイメージ：1 コマ先に進めます。

⑦逆再生：録画映像を逆再生します。

再生速度はスクロール・バーの左に表示されています。



4.スケール・バー

スケール・バーを操作することでタイム・テーブルの表示を拡大 / 縮小できます。



ス

クロール・バー

スクロール・バーを操作することで、任意の時間の録画映像を再生できます。

注意：スクロール・バーは再生中のみ有効になります。



4.4.3 オーディオ再生



選択中のカメラの記録オーディオを再生できます。

アイコン	内 容
	消音： 再生中の録画映像のオーディオを消します。
	音量ダウン： 再生中の記録映像のオーディオ・ボリュームを下げます。
	音量アップ： 再生中の記録映像のオーディオ・ボリュームを上げます。

4.4.4 ファイルのエクスポート

エクスポート機能を用いることで、録画映像をUSB機器に保存したり、USB 接続された DVD ドライブのメディアに直接書き出したりすることができます。



カメラ、録画映像のタイプ、日付と時間を選んでからエクスポート・ボタンをクリックしてください。

DIGIPlayer と DIGICheck を録画映像とともにダウンロードするかどうかを確認するウィンドウが表示されます。

- DIGIPlayer は NVR に保存された録画映像を再生するプレイヤーです。
- DIGICheck は、録画映像ファイルが DIGISTOR で作成されたものかどうかを確認するためのツールです。

実際にファイルをエクスポートする前に、記録映像の開始 / 終了時刻とファイル容量を確認できます。

エクスポートに成功したら、その旨を知らせるウィンドウが表示されます。

4.4.5 スナップショット

ローカル・ディスプレイでの再生中にもスナップショットを撮影できます。USBの保存メディアをNVRのUSBポートに接続してください。スナップショット・ボタンをクリックすると静止画像が保存されます。



4.5 その他

3.5.1 ローカル・ディスプレイのスクリーンショット

「PrtSc SysRq」を押すとローカル・ディスプレイの全画面が NVR の共有フォルダ「Public」内に保存されます。PC を使って Windows ネットワーク、または FTP でファイルのアクセスできます。

注意：Windows ネットワーク、FTP サービスを使用する時は、設定ページの「ファイル共有」設定から、必要なサービスを有効にしてください。詳細は 5.3.3。

4.5.2 システムのアップグレード

ローカル・ディスプレイの操作でシステムをアップデートできます。詳細は 5.7.2 を参照してください。

注意：この操作はローカル・ディスプレイに対応した機種のみ可能です。

4.5.3 USB バックアップ

NVR 本体正面の USB ポートに USB ストレージまたは DVD ドライブを接続し、ボタンを押すことで自動的にバックアップを作成できます。
注意：ボタンを押すと直ちにバックアップが開始されます。



- 1) 設定ページ > 管理 > USB バックアップで機能の有効 / 無効を切り換えます。
- 2) USB ストレージまたは DVD ドライブをバックアップ用 USB ポートに接続します。機器が有効な時は「状態」が「準備完了」になります。
- 3) 保存期間とチャンネルを選択します（保存期間は今から「# 日 # 時間」前まで）。
- 4) 「USB バックアップ」 ボタンをクリックします。

5.0 設定

設定ページでは、カメラ、録画とイベント、ディスク管理、ネットワーク管理とシステムの設定を行えます。

注意：設定ページを表示してから待機時間が 10 分を経過すると、セキュリティのために自動的にログアウトします。

5.1 カメラ設定

5.1.1 カメラ設定

手動または UPnP 検索でカメラを NVR に登録できます。

1. カメラ設定

手動で IP アドレスを入力し、メーカー名を選択します。その後、「適用」をクリックしてカメラを登録します。

クイック設定 - カメラ設定

カメラ設定			
カメラ設定			
カメラNo.	2	ストリーミングの状態	<input checked="" type="radio"/> NVRによる最適化 <input type="radio"/> ユーザー指定
カメラ名	Camera 2	ポート	80
IPアドレス	192.168.0.1	パスワード	*****
管理番号	admin	型番	
メーカー	Auto	RTSP port	
Generic URL			
録画実行	<input checked="" type="checkbox"/> このカメラで録画を行う		
<input type="button" value="UPnP検索"/> <input type="button" value="適用"/>			

カメラ名（任意）、ユーザー名、パスワードはを入力してください。

（※カメラのユーザー名、パスワードは管理者のものを使用してください。カメラによっては、自動的にユーザー名、パスワードにデフォルト値が入力されるものもあります。）

カメラ設定

カメラNo	2	ストリーミングの状態	<input checked="" type="radio"/> NVRによる最適化 <input type="radio"/> ユーザー指定
カメラ名	Camera 2	ポート	80
IPアドレス	192.168.0.x	パスワード
管理者名	admin	型番	
メーカー	Auto	RTSP port	
Generic URL			
録画実行	<input checked="" type="checkbox"/> このカメラで録画を行う		

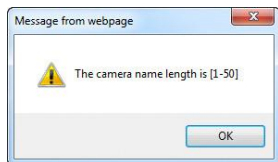
UPnP検索

変更後のユーザー名とパスワードの記録：

ユーザー名とパスワードが自動入力されたメーカーのユーザー名とパスワードを変更して「適用」をクリックすると、NVR は、そのメーカーの初期ユーザー名とパスワードを変更後の情報に書き換えます。以後、同じメーカーのカメラを追加した時は、自動で変更後のユーザー名とパスワードが入力されます。

注意：ユーザー名とパスワードの初期値はメーカーによって異なります。

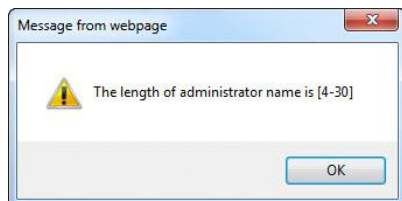
入力した情報に不備がある時は、警告ウィンドウが表示されます。



IP アドレスが不適切な時は、以下の警告ウィンドウが表示されます。



ユーザー名に誤りがある時は、以下の警告ウィンドウが表示されます。



パスワードに誤りがある時は、以下の警告ウィンドウが表示されます。



登録が完了すると、リストにカメラ名、IP アドレス、ポート番号、メーカー名、機種名が表示されます。

No.	カメラ名	IPアドレス	ポート	メーカー	機種	削除
1	brickcon300	192.168.0.80	80	Bricksee Corporation	Bricksee-300N-300	<input checked="" type="checkbox"/>
2	BB-HCM500	192.168.0.201	80	Panasonic	BB-HCM500	<input checked="" type="checkbox"/>
3						
4	BB-HCM735	192.168.0.253	80	Panasonic	BB-HCM735	<input checked="" type="checkbox"/>
5	Camera 5	192.168.0.78	80	Takax	NuC-130P	<input checked="" type="checkbox"/>
6	Camera 6	192.168.0.81	80	Takax	NuC-130P	<input checked="" type="checkbox"/>
7	3000	192.168.0.143	80	SANYO	VCC-HD3500	<input checked="" type="checkbox"/>
8	3300	192.168.0.185	80	SANYO	VCC-HD3300	<input checked="" type="checkbox"/>
9	2500	192.168.0.144	80	SANYO	VCC-HD2500	<input checked="" type="checkbox"/>
10	takaa3	192.168.0.82	80	Takax	NuC-130	<input checked="" type="checkbox"/>
11	2300	192.168.0.165	80	SANYO	VCC-HD2300	<input checked="" type="checkbox"/>
12	taxi	192.168.0.135	80	iCanTak	taxi15400	<input checked="" type="checkbox"/>
13	takaa4	192.168.0.79	80	Takax	NuC-130P	<input checked="" type="checkbox"/>
14						
15						
16						

」

したら、「次へ」をクリックしてください。

● 削除

登録しているカメラを削除する時は、リストで選択して「削除」をクリックします。

No.	カメラ名	IPアドレス	ポート	メーカー	型番	削除
1	brickcom300	192.168.8.80	80	Brickcom Corporation	Brickcom-300B-300	
2	BB-HC0000	192.168.8.201	80	Parasonic	BB-HC0000	

認

のためのウィンドウが表示されます。

削除する時は「OK」をクリックしてください。

削除が完了するまでお待ちください。

リストからカメラが削除されました。

No.	カメラ名	IPアドレス	ポート	メーカー	型番	削除
1						
2						
3						

●Generic RTSP/ Generic MJPEG

DIGISTOR は、正式対応していないカメラであっても、RTSP/ MJPEG のストリーミングを取得するための URL がわかれば、Generic 登録できます。取得したストリーミングはライブ表示、録画に用いられます。

Camera Settings

Camera No. Camera 2

Camera Name bric-6

IP Address 192.168.1.6 Port 80

Username admin Password *****

Vendor Brickcom Model Brickcom-500A

Generic URL rtsp://192.168.1.6:554/camera RTSP port 554

Recording Enabled ☒ Enable recording on this camera

UPnP Search Apply

Camera List

No.	Camera Name	IP	Vendor	Model	Delete
1	bric107	192.168.1.10	Brickcom Corporation	Brickcom-500A	Delete
2	bric-6	192.168.1.6	Brickcom Corporation	Brickcom-500A	Delete
3	bric-154	192.168.1.10	Brickcom Corporation	Brickcom-500A	Delete

Generic URL の欄に、URL を入力してください。RTSP を使用する時は RTSP ポートの欄も入力する必要があります。

Camera Settings

Camera No. Camera 17

Camera Name

IP Address Port 80

Username Password *****

Vendor Generic RTSP (RTSP) Model Generic

Generic URL rtsp://192.168.1.6:554/camera RTSP port 554

Recording Enabled ☒ Enable recording on this camera

UPnP Search Apply

Tip: If the path is rtsp://192.168.1.6/channel1. The Generic URL should be filled out as channel1.

「適用」をクリックすると設定が反映されます。

URL はメーカーにお問い合わせください。また、以下のサイトが参考になります。

- <https://www.soleratec.com/rtsp/>
- <http://www.ispyconnect.com/sources.aspx>

2.UPnP 検索

「UPnP 検索」をクリックすると、同一サブネット上のカメラを検索します。検索できるのは UPnP 機能を持つカメラだけです。一部のカメラ（Panasonic iPro など）は起動後、一定時間のみ UPnP で検索できます。



検索中の画面です。しばらくお待ちください。

Camera Settings

No.	IP Address	Port	Vendor	Model	MAC	
1	192.168.1.41	80	ACTI Corporation	TC3AC301-05C-3-00455	00-45-05-00-00-00	Add
2	192.168.1.122	80	AXIS	211W	00-40-8C-82-E9-19	Add
3	192.168.1.123	80	AXIS	M1011-W	00-40-8C-A0-9F-23	Add
4	192.168.1.124	80	AXIS	M1031-W	00-40-8C-99-B4-7D	Add
5	192.168.1.125	80	AXIS	209PD	00-40-8C-A0-8A-B4	Add
6	192.168.1.151	80	Brickcom Corporation	FD-1004p	00-25-82-1A-00-08	Add
7	192.168.1.152	80	Brickcom Corporation	FD-1004p	00-25-82-1A-00-14	Add

登録可能なカメラが一覧表示されます。リストから「追加」をクリックして必要なカメラを追加してください。

カメラ設定

カメラNo	1	ストリーミングの状態	<input checked="" type="radio"/> NVRによる最適化 <input type="radio"/> ユーザー指定
カメラ名	Camera 1	ポート	80
IPアドレス	192.168.0. x	パスワード	*****
管理者名	admin	型番	
メーカー	Auto	RTSP port	
Generic URL			
録画実行	<input checked="" type="checkbox"/> このカメラで録画を行う		

UPnP検索 適用

はカメラ名、IP アドレス、ユーザー名、パスワード、ポート、メーカー名、機種名が表示されます。「適用」をクリックしてカメラを登録します。

注意：カメラ名、ユーザー名、パスワードは変更できます。ユーザー

名とパスワードは初期値が表示されますが、変更すると NVR 側はそれを初期値として登録します（54 頁参照）。
登録が終わったら「次へ」をクリックします。

5.1.2 録画／ライブ表示設定

メニューの中の「録画／ライブ表示設定」を選択してください。

録画／ライブ設定

録画／ライブ設定

Stream 1 (録画用 / ライブ 1 (2分間))

映像形式: ☐ MPEG4 ☒ H264 ☐ MJPEG

解像度: 1280x800

フレームレート: 10 fps

画質: ☐ VBR ☒ CBR 4000 Kbps

オーディオ形式: ☒ 音声電話用 / ☐ マイク

Stream 2 (ライブ 16分間 (2分))

映像形式: ☐ MPEG4 ☒ H264 ☐ MJPEG

解像度: 1280x100

フレームレート: 1 fps

画質: ☒ VBR 5 Kbps ☐ CBR 2000 Kbps

オーディオ形式: ☒ 音声電話用 / ☐ マイク

適用 リセット

カメラがマルチ・ストリームに対応している場合、NVR は 2 本のストリームを取得できます。ストリーム 1 は録画用、及び 1?12 分割表示に使用するライブ映像用で普通は高画質設定を行います。ストリーム 2 は 16 分割以上の小さなライブ映像を表示するために使い、普通は低画質設定を行います。それぞれ最適の解像度、フレームレート、画質を設定してください。

リスト

No.	カメラ名	IPアドレス	メーカー	型番	カメラへのリンク
1	brickcom360	192.168.0.80	Brickcom Corporation	Brickcom-360N-360	ブラウザーで開く
2	BB-HCM580	192.168.0.201	Panasonic	BB-HCM580	ブラウザーで開く
3	BB-HCM715	192.168.0.73	Panasonic	BB-HCM715	ブラウザーで開く
4	BB-HCM735	192.168.0.253	Panasonic	BB-HCM735	ブラウザーで開く
5	Camera 5	192.168.0.78	Tallex	NiC-130P	ブラウザーで開く
6	Camera 6	192.168.0.61	Tallex	NiC-130P	ブラウザーで開く
7	3500	192.168.0.143	SANYO	VCC-HD3500	ブラウザーで開く
8	3300	192.168.0.105	SANYO	VCC-HD3300	ブラウザーで開く
9	2500	192.168.0.144	SANYO	VCC-HD2500	ブラウザーで開く
10	tallex3	192.168.0.82	Tallex	NSC-130	ブラウザーで開く
11	2300	192.168.0.165	SANYO	VCC-HD2300	ブラウザーで開く
12	test1	192.168.0.135	iCanTek	test340M	ブラウザーで開く
13	tallex4	192.168.0.79	Tallex	NiC-130P	ブラウザーで開く
14					ブラウザーで開く
15					ブラウザーで開く
16					ブラウザーで開く

録画／ライブ映像表示設定を行う時は、先に下段にあるカメラ・リストから、設定したいカメラを選んでください。上段に設定情報が読み込まれます。

●映像形式

ライブ映像表示／録画で使用する映像形式を選択してください。

注意：選択可能な形式は機種によって異なります。

●フレームレート

ライブ映像表示／録画時のフレームレートを選択してください。実際に表示／録画できるフレームレートはネットワークの環境に依存します。

●解像度

ライブ映像表示／録画で使用する解像度を選択してください。

●画質

VBR（流動的なビットレート）か CBR（固定的なビットレート）を選択し、画質を選んでください。

●オーディオ

オーディオ機能を有効にする時はチェックを入れてください。

「カメラの設定ページ」から、カメラの設定ページへ移動することができます。

5.1.3 カメラの状態

「カメラの状態」をクリックすると NVR に登録しているカメラの状態を確認できます。

カメラの状態						
カメラの状態						
No.	カメラ名	IPアドレス	接続状態	録画状態	フレームレート (fps)	ビットレート (Kbps)
1	brickcom360	192.168.0.90	Connected	Recording	20 fps	4262.9 Kbps
2	BB-HCM580	192.168.0.201	Connected	Recording	4 fps	738.9 Kbps
3	BB-HCM715	192.168.0.73	Connected	Recording	1 fps	282.3 Kbps
4	BB-HCM735	192.168.0.253	Connected	Recording	3 fps	607.4 Kbps
5	Camera 5	192.168.0.78	Connected	Recording	5 fps	2445.8 Kbps
6	Camera 6	192.168.0.81	Connected	Recording	0 fps	281.6 Kbps
7	3500	192.168.0.143	Connected	Recording	5 fps	3481.7 Kbps
8	3300	192.168.0.105	Connected	Recording	15 fps	2975.1 Kbps
9	2500	192.168.0.144	Connected	Recording	5 fps	2667.7 Kbps
10	takev3	192.168.0.82	Connected	Recording	0 fps	272.8 Kbps
11	2300	192.168.0.165	Connected	Recording	15 fps	2985.7 Kbps
12	test	192.168.0.135	Connected	Recording	25 fps	1512.7 Kbps
13	takev4	192.168.0.79	Disconnected	Stopped	0 fps	0 Kbps
14			-	-	0 fps	0 Kbps
15			-	-	0 fps	0 Kbps
16			-	-	0 fps	0 Kbps
						22497 Kbps

接続状態が「Connected」は、カメラと NVR が正常に接続できている状態を表します。「Disconnected」は何らかの理由で接続できていない状態です。「Connected」でも、イベント録画でイベントが発生していない時やスケジュールされていない時間帯は録画状態が「Stopped」になります。

5.2 録画とイベント

「録画とイベント」ページでは、イベントの定義とその処理、録画のスケジュールなどを設定します。



ハードディスクが本体に取り付けられていない状態でこのページを表示するとエラー・メッセージがポップアップします。ハードディスクを取り付けてから設定してください。

5.2.1 録画モード

録画モードには「No Recording（録画しない）」「イベント録画」「スケジュール録画」「常時録画」の4タイプあります。カメラごとにモードを設定できます。



- **No Recording** : 全てのカメラで録画をしないモードです。
- **イベント録画** : イベントをトリガーにして録画を行うモードです。
- **スケジュール録画** : 決められたスケジュールに従って録画を行うモードです。「録画スケジュール」タブでスケジュールを作成します。
- **常時録画** : 連続的に録画するモードです。

DIGISTOR は次の 2 通りの方法で付録録画ファイルを削除します。

●**自動リサイクル**：HDD の使用率が一定の値に達すると古いファイルを削除する方法です。20～90 までの値（%）を設定してください。例えば「70」を設定すると、HDD の使用量が 70%に達すると、古いファイルから削除していき、使用率 70%を保つようにします。
（※初期値 70%）

●**強制保存**：録画ファイルを保存する日数を決め、その期日が過ぎたファイルを削除していきます。HDD の使用率は問わないため、設定した日数が経過しない限りファイルが削除されないことに注意してください。その期日が訪れるまでに HDD の容量が一杯になると、それ以上の録画ができなくなります。

設定が終わったら「適用」をクリックして設定を反映させます。

5.2.2 録画スケジュール

全てのカメラに録画スケジュールを設定することができます。

録画モード 録画スケジュール

録画スケジュール

リスト

録画スケジュール

開始 終了

0 H 0 M 0 H 0 M

選択項目も適用 ■ 全てを選択

☐ brickcom360 ☐ BB-HCM580 ☐ BB-HCM715 ☐ BB-HCM735

☐ Camera 5 ☐ Camera 6 ☐ 3500 ☐ 3300

☐ 2500 ☐ take3 ☐ 2300 ☐ test

☐ take4 ☐ Cam 14 ☐ Cam 15 ☐ Cam 16

挿入

開始 終了 録画

00:00 24:00

☐ 全てを削除

削除

00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

Cam1

Cam2

1) スケジュールの挿入

開始時間と終了時間をセットして「挿入」をクリックしてください。

録画モード 録画スケジュール

録画スケジュール

リスト

◎日 ○選
ーリスト

brickcom360
BB-HCM580
BB-HCM715
BB-HCM735
Camera 5
Camera 6
3500
3300
2500
take3
2300
test
take4
Camera14
Camera15
Camera16

開始 終了

14 H 0 M 20 H 0 M

選択項目も適用 ■ 全てを削除

☒ brickcom360 ☐ BB-HCM580 ☐ BB-HCM715 ☐ BB-HCM735
☐ Camera 5 ☐ Camera 6 ☐ 3500 ☐ 3300
☐ 2500 ☐ take3 ☐ 2300 ☐ test
☐ take4 ☐ Cam 14 ☐ Cam 15 ☐ Cam 16

挿入

開始	終了	録画
02:00	03:00	Always
10:00	11:00	Always
14:00	20:00	Always

☐ 全てを削除

削除

00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

Cam1
Cam2
Cam3

て

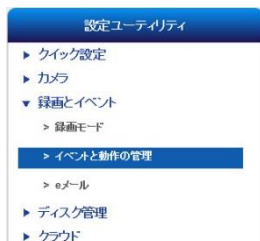
(チェック・ボックスにチェックを入れて選択)、0200-0300、1000-1100、1400-2000 のスケジュールを一つずつ「挿入」し、最後に「適用」ボタンをクリックすれば、図のように録画を行う時間帯にグラフが表示されます。

2) スケジュールの削除

スケジュールを示すグラフをクリックすると、上の表にその情報が表示されます。その後、「削除」をクリックすると該当するスケジュールが削除されます。

5.2.3 イベントと動作の管理

「イベントと動作の管理」のメニューをクリックしてください。



「イベントと動作の管理」では、アラームが発生した時、NVR がどのような動作を行うのか定義できます。センサーなどセキュリティ機器と連動させることで、より効果的な監視が行えるでしょう。

1) イベントと動作



NVR はカメラに入ったイベントのトリガーごと、異なる動作を設定することができます。イベントには以下の種類があります。

- ① 接続不良
- ② モーション検知
- ③ デジタル入力
- ④ NVR のイベント：接続不良／録画エラー／デジタル入力
- ⑤ 外部イベント (HTTP_in)

イベントと動作は、次の方法で設定します。



設定したいカメラとイベントを選択して「追加」をクリックします。

注意： イベントと動作を定義づけしない限りこの機能は有効になりません。

1. 接続不良

「Eメールを送る」「デジタル出力」「ユーザー規定の動作」「SMS」から動作を選択できます。カメラとの接続が途切れた時、設定した動作を行います。

イベント検知
Eメールを送る
デジタル出力
ユーザー規定の動作
SMS

● Eメールを送る



「E メールを送る」を選択すると、Eメールの受信者を設定する画面がポップアップします。まだ受信者の設定を行っていない時は、「録画とイベント > Eメール」で設定します。

「スナップショットを添付」にチェックを入れていたら、イベント発生時にスナップショットを撮影してメールに添付します。

注意：カメラが接続不良の時は正常にスナップショットを撮影できないことがあります。

最後に「適用」をクリックして設定を登録します。

Eメール送信は20秒間隔で行われます。例えば1分間イベントが続いたとしたら、メールは3通送信されることになります。

●デジタル出力

デジタル出力を選択すると、「デジタル出力」設定ウィンドウが表示されます。

ブザーは、60秒間鳴らすことができます。

注意：NVR正面のUSBバックアップ・ボタンを1秒間押せばブザーを止めることができます。バックアップ・ボタンがついているのはDS-8200-RM Proシリーズ、DS-4200-RM Proシリーズ、DS-4200 Proシリーズ、DS-4000シリーズとDS-2000 Proシリーズです。

デジタル出力1とデジタル出力2は最長60秒間有効になります。適用するカメラを選択してください。



● ユーザー規定の動作

イベントがトリガーされた時、HTTP command をネットワーク機器に送信するよう設定できます。送信先となる機器の IP アドレスとポート番号、送信する HTTP command を「HTTP URL」に入力してください。またその機器にログインする際に必要になるユーザー名とパスワードも入力してください。

Action Digital Output Configuration - Web ページ ダイアログ

ユーザー規定の動作設定

動作の名前	<input type="text"/>
IPアドレス	<input type="text"/>
ポート	<input type="text"/>
HTTP URL	<input type="text"/>
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="text"/>

選択項目を適用 <input type="radio"/> 全て	<input checked="" type="checkbox"/> brickcom360	<input type="checkbox"/> BB-HCM580	<input type="checkbox"/> Camera 3	<input type="checkbox"/> BB-HCM735
	<input type="checkbox"/> Camera 5	<input type="checkbox"/> Camera 6	<input type="checkbox"/> 3500	<input type="checkbox"/> 3300
	<input type="checkbox"/> 2500	<input type="checkbox"/> takev3	<input type="checkbox"/> 2300	<input type="checkbox"/> test
	<input type="checkbox"/> takev4	<input type="checkbox"/> Camera 14	<input type="checkbox"/> Camera 15	<input type="checkbox"/> Camera 16

注意: このオプションは他のカメラにも適用されます。

OK

● SMS

本機能は日本国内の SMS には対応していません。

2. モーション検知

「イベント録画」「Eメールを送る」「デジタル出力」「ユーザー規定の動作」「SMS」から動作を選択できます。カメラがモーションを検知した時、設定した動作を行います。

● イベント録画

イベント録画とビデオ・クリップの2種類があります。

イベント録画: イベントが発生すると5分間の映像を記録します。

イベントが継続的に発生するとその間、録画も継続されます。

ビデオ・クリップ: Eメールでビデオ・クリップを送信します。

詳細設定で、イベント発生前後に記録する時間(秒数)を設定できます。

設定するカメラを選択したら「適用」をクリックします。

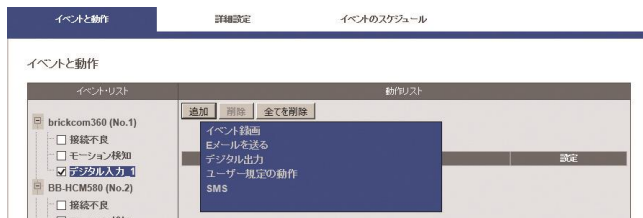
The screenshot shows a web browser window titled 'Event Trigger Record Configuration - Web ページ ダイアログ'. The main content area is titled 'イベント録画設定' (Event Record Setting). It contains a form with the following elements:

- イベント録画** (Event Record): A section with a radio button for '有効' (Enabled) selected, and an option for '無効' (Disabled).
- ビデオ・クリップ** (Video Clip): A section with input fields for '録画前時間' (Recording start time) and '録画後時間' (Recording end time), both set to '3' seconds. A note below states: '注意: eメールでビデオ・クリップを送信、録画とイベント> eメールで受信者を設定できます。' (Note: You can set the recipient for email transmission, recording, and event > email reception.)
- 選択項目を適用** (Apply selected items): A checkbox labeled '全て' (All) is checked.
- 受信者名** (Recipient name): A table with columns for '選択' (Select), '受信者名' (Recipient name), and 'eメール' (Email).
- カメラリスト**: A grid of checkboxes for various cameras, including 'brickcom360', 'BB-HCM580', 'Camera 3', 'BB-HCM735', 'Camera 5', 'Camera 6', '3500', '3300', '2500', 'take3', '2300', 'test', 'take4', 'Camera 14', 'Camera 15', and 'Camera 16'. The 'brickcom360' checkbox is checked.
- 注意**: A note at the bottom states: '注意: このオプションは他のカメラにも適用されます。' (Note: This option is also applicable to other cameras.)
- OK**: A button at the bottom left of the form.

The browser's address bar shows 'http://192.168.0.38/cfg_event_record.htm'. The status bar at the bottom indicates '信頼済みサイト | 保護モード: 無効' (Trusted site | Protection mode: Disabled).

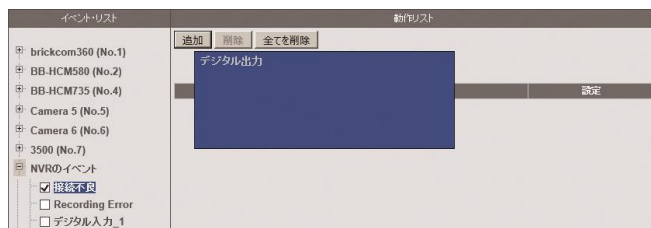
3. デジタル入力

「イベント録画」「E メールを送る」「デジタル出力」「ユーザー規定の動作」「SMS」から動作を選択できます。カメラのデジタル入力に信号が入ると、設定した動作を行います。



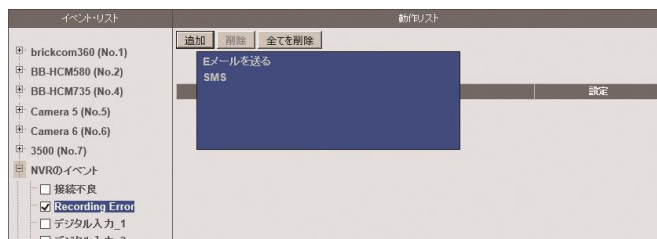
4. NVR のイベント : 接続不良

「デジタル出力」を選択できます。NVR がネットワーク接続を失うと、この動作を行います。



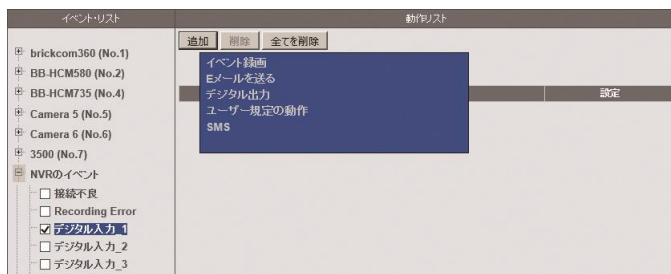
5. NVR のイベント : 録画不良

「E メールを送る」「SMS」から動作を選択できます。NVR が録画に失敗すると、この動作を行います。



6. NVR のイベント : デジタル入力

「イベント録画」「E メールを送る」「デジタル出力」「ユーザー規定の動作」「SMS」から動作を選択できます。NVR のデジタル入力に信号が入ると、設定した動作を行います。



7. 外部イベント (HTTP-in)

「イベント録画」「E メールを送る」「デジタル出力」「ユーザー規定の動作」「SMS」から動作を選択できます。

外部の機器から NVR に対して HTTP-in CGI command が送信されると設定した動作を行います。全部で 5 種類の CGI command とそれに対応する動作を設定できます。

HTTP-in CGI command は次のように記述します：

`http://<NVR_IP>/login.cgi/cgi_main.cgi?cgiName=event_ipc
.cgi&eventName=Defined_<int>`

<NVR_IP>は、外部機器が NVR にアクセスできる IP アドレスです。
<int>は、外部イベントの番号（1-5）です。

例：

`http://192.168.1.245/login.cgi/cgi_main.cgi?cgiName=event
_ipc.cgi&eventName=Defined_3`

最後に「適用」をクリックして設定を保存します。

5.2.4 詳細設定

イベントと動作

詳細設定

イベントのスケジュール

詳細設定

動作トリガー間隔	30 秒
ビデオ・クリップ	右の秒数より前から録画開始は 3 秒。(イベント前) 右の秒数後に録画停止 3 秒。(イベント後)
録画モード	右の秒数より前から録画開始は 30 秒。(イベント前) 右の秒数後に録画停止 30 秒。(イベント後)
音声でイベント録画	<input type="checkbox"/>

ヒント: 時「音声でイベント録画」を有効にすると、事件が発生するまで全てのカメラが録音しません。事件が停止すると、録音も停止します。録音の機能には影響しません。

適用

リセット

作

トリガー間隔

この間隔内でトリガーが入ると連続的に動作を行います。

●ビデオ・クリップと録画設定

トリガーが入る前後それぞれ何秒間を録画するのかを設定します。イベント発生前 300 秒間、イベント終了後 300 秒間まで設定できます。

●イベント録画のみオーディオ保存

この項目にチェックを入れると、通常はオーディオを保存しませんが、イベント発生時のみオーディオを保存します。イベントが終了すると自動的にオーディオは無効になります。

「適用」をクリックして設定を保存してください。

5.2.5 イベントのスケジュール

イベントを常時ではなく決められた時間帯のみ検知することができます。

イベント・スケジュールの設定

A. 「イベントと動作の管理」でイベントと動作の設定を行います。

注意：イベントと動作は、自動的に「常時」モードの設定になります。

B. 「イベントのスケジュール」タブをクリックします。



C. スケジュールの設定を行います。

週単位、日単位どちらのスケジュールを組むのかを決めます。

● 日単位



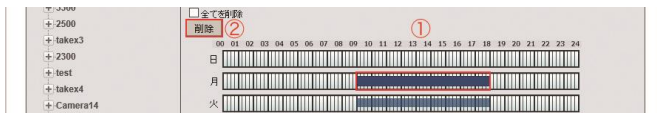
1. カメラを選択します。
2. 開始／終了時刻を設定します。
3. 「挿入」をクリックします。
4. グラフが表示されます。
5. スケジュール一覧に結果が表示されます。
「適用」をクリックして設定を保存します。

●週単位



1. スケジュールを適用する曜日を選択します。
 2. 開始／終了時刻を設定します。
 3. スケジュールを適用するカメラを選択します。
 4. 「挿入」をクリックします。
 5. グラフが表示されます。
 6. スケジュール一覧に結果が表示されます。
- 「適用」をクリックして設定を保存します。

●スケジュールの削除



- 1.削除したいグラフをクリックします。
 - 2.「削除」をクリックします。グラフとリストが同時に削除されます。
 - 3.あるカメラのスケジュール全てを削除したい時は、グラフを選択した後で「全てを選択」にチェックを入れて「削除」をクリックします。
- 注意：**スケジュールが全て削除された場合、「常時」イベントが動作することになります。

5.2.6 Eメール

「録画とイベント」の「Eメール」を選択してEメールに関する設定を行います。

▼ 録画とイベント

- > 録画モード
- > イベントと動作の管理
- > Eメール

SMTP サーバー

- **サーバー・アドレス**：SMTP サーバーのアドレスを入力します。
- **送信者**：送信者の E メール・アドレスを入力します。
- **件名と本文**：メールの件名と通知文面を入力します。
- **認証**：お使いになる SMTP サーバーに応じた認証形式を選択してください。
- **ユーザー名とパスワード**：SMTP サーバーで使用する情報を入力します。

「適用」をクリックして完了するか、「テスト・メールを送信」をクリックして設定が有効かどうかを確認してください。

受信者

「受信者」タブをクリックして E メールを受信するアドレスを追加します。

「名前」と対応する「E メール」を入力して「受信者を追加」をクリックしてください。追加すると「受信者リスト」に名前とアドレスが表示されます。

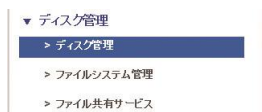
「適用」をクリックして設定を保存します。

5.3 ディスク管理

RAID を新規作成する時、またディスク・ボリュームを削除したりフォーマットしたりする時はメニューの「ディスク管理」をクリックします。またこのページではファイル共有サービスの設定も行えます。

5.3.1 ディスク管理

「ディスク管理」メニューの「ディスク管理」を選択してください。



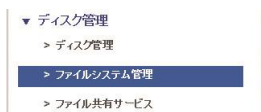
ディスク情報

HDD が 1 台も取り付けられていない時は、そのことを示すメッセージが表示されます。

ディスク・ボリュームの作成と削除についてはクイック設定のディスク管理（2.3.5）を参照してください。

5.3.2 ファイル・システム管理

「ディスク管理」メニューの「ファイル・システム管理」を選択してください。



ファイルシステム・リスト		ファイルシステム情報	
	ファイルシステム・リスト	名前	Volume1
	└ Volume1 [1833.78 GB,RAID A]	容量	1833.78 GB
		使用容量	1382.35 GB, 75.38%
		デバイス	RAID A
		状態	マウント済み

3.3 ファイル共有サービス

「ディスク管理」メニューの「ファイル共有サービス」を選択してください。

- ▼ ディスク管理
 - ディスク管理
 - ファイルシステム管理
 - **ファイル共有サービス**

「ディスク管理」メニューの「ファイル共有サービス」を選択してください。

情報		Windowsネットワーク	FTPサービス
サービスリスト	状態	動作	リンク
Windowsネットワーク	ON	無効	リンク
FTPサービス	ON	無効	リンク

ファイル共有サービスの状態と有効／無効の切り換え、FTP 及び共有フォルダを開くことができます。

サービスの有効／無効の切り換え、コンピューター名の変更などを行います。

情報	Windowsネットワーク	FTPサービス
----	---------------	---------

Windows設定

サービス	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
コンピュータ名	DS-20107aae767c
コンピュータの説明	NVR
ドメインまたはWorkgroup名	Surveillance

サービス

サービスの有効／無効の切り換え、使用するポートの変更などを行います。

情報	Windowsネットワーク	FTPサービス
----	---------------	---------

FTP設定

サービス	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
コマンド・ポート	21
パッシブ・ポート	1024 - 65535

注意: ポート1234～1362とその他のポートはシステムがリザーブしています。

5.3 クラウド

DIGISTORは録画ファイルをDropboxにアップロードしてバックアップを取る機能を持ちます。アップロードした録画ファイルはそのリンクを共有できます。

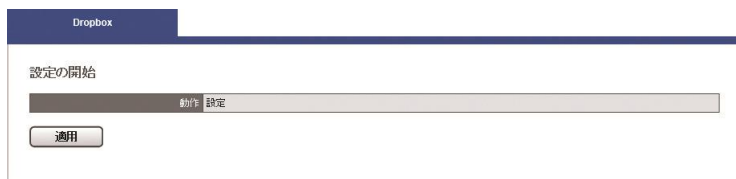
「クラウド」メニューの「Dropbox」を選択して設定を行います。



注意：本機能は Dropbox のアカウントを有しており、サービスの内容を熟知している方のみご利用ください。

5.4.1 Dropbox の設定

「適用」をクリックして Dropbox の設定を開始します。



Dropbox にログインするためのユーザー名とパスワードを入力するウィンドウが表示されます。



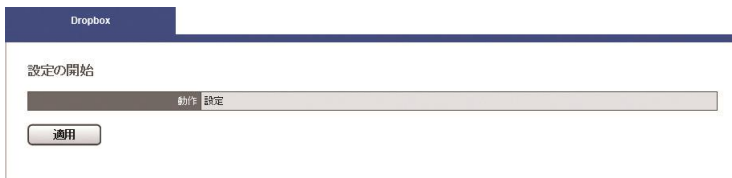
Dropbox に NVR を登録するため、再度パスワードを入力するウィンドウが表示されます。



登録が完了すると、Dropbox 内に自動的に「Dropbox」という名称のフォルダーが自動的に作成されます。



設定が完了すると設定ページの表示が次のように変更されます。
Dropbox 設定を削除したい時は「適用」をクリックしてください。



5.4.2 Dropbox サーバーへの共有ファイルの移動

「Public (snapshot、設定ファイルなど)」「Videodata1 (録画ファイルとビデオ・クリップ)」フォルダー内のファイルを「Dropbox」フォルダーへ移動させることで、そのファイルをクラウドで共有できます。

5.4.3 設定の削除とオンライン同期

キーボードの「F5」ボタンを押すと画面が再読み込まれ、次の情報が表示されます。

設定の開始	
動作	設定とデータの削除
<input type="button" value="適用"/>	

オンライン同期	
有効	<input checked="" type="checkbox"/> Dropbox フォルダー
状態	Updating (1 file, 16 secs left) Downloading 1 file (6.566 KB/sec, 16 secs left)
<input type="button" value="適用"/>	

データの削除

「適用」をクリックすると、NVR 内の Dropbox に関する情報と Dropbox フォルダー内のデータが削除されます。

2. オンライン同期

NVR が自動的に Dropbox サーバーと同期するのかが設定できます。同期させる時は「有効」にチェックを入れて「適用」をクリックします。無効にしたい時はチェックを外して「適用」をクリックします。

Dropbox フォルダー

Windows ネットワークを用いて直接「Dropbox」を開くことも可能です。

5.5 ネットワーク設定

5.5.1 ネットワークのセットアップ

「ネットワーク」のメニューから「ネットワーク設定」を選択してください。

▼ ネットワーク

> ネットワーク設定

> ネットワーク・サービス

> DDNS

1. 情報

情報	設定	ポート設定
LAN 1		
コンピュータ名	DS-20107aae767c	
IPアドレス	192.168.0.39	
サブネット・マスク	255.255.255.0	
デフォルト・ゲートウェイ	192.168.0.1	
プライマリ・DNSサーバー	192.168.0.1	
セカンダリ・DNSサーバー		

ター名、IP アドレス、サブネット・マスク、デフォルト・ゲートウェイ、プライマリ及びセカンダリ DNS 情報を表示します。

2. 設定

DIGISTOR はデュアル IP アドレスを設定できます。お使いのネットワークに合わせて IP アドレスを使い分けることが可能です。

注意：デュアル IP アドレスに対応しているのは DS-4200 Pro シリーズ、DS-4200-RM Pro シリーズと DS-8200-RM Pro シリーズです。



共有 IP

情報	設定	ポート設定
ネットワーク設定		
ネットワークインターフェイス <input checked="" type="radio"/> 共有IP <input type="radio"/> 固有IP		
LAN 1		
コンピュータ名	DS-20107aaa767c	
インターネットプロトコル	<input checked="" type="radio"/> IPアドレスを自動的に割り付け <input type="radio"/> 特定のIPアドレスを使用	
IPアドレス	192.168.1.245	
サブネットマスク	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1	

コンピュータ名の変更、DHCP または固定 IP の設定を行えます。

●**DHCP** : ネットワーク内の DHCP サーバーから自動的に IP アドレスが割り振られる設定です。

●**固定 IP** : DHCP サーバーが存在しない時、DIGISTOR の初期 IP アドレスは「192.168.1.245」になります。お使いになるネットワークの環境に合わせて IP アドレスを変更してください。同一ネットワーク内に複数の DIGISTOR が存在する時は、それぞれ異なる IP アドレスを持つように設定してください。

固有 IP

情報	設定	ポート設定
ネットワーク設定		
ネットワークインターフェイス <input type="radio"/> 共有IP <input checked="" type="radio"/> 固有IP		
LAN 1		
コンピュータ名	DS-20107aaa767c	
インターネットプロトコル	<input checked="" type="radio"/> IPアドレスを自動的に割り付け <input type="radio"/> 特定のIPアドレスを使用	
IPアドレス	192.168.1.245	
サブネットマスク	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1	
プライマリ-DNSサーバー	192.168.1.1	
セカンダリ-DNSサーバー		

LAN1 と LAN2 で異なるネットワーク設定を用いる場合は「固有 IP」を選択してください。

3. ポート設定

初期設定は「80」です。DIGISTOR にアクセスする際に使用する HTTP ポートを設定してください。

5.5.2 ネットワーク・サービス

「ネットワーク」メニューから「ネットワーク・サービス」を選択してください。

- ▼ ネットワーク
 - > ネットワーク設定
 - > ネットワーク・サービス
 - > DDNS

1. 禁止／許可リスト

禁止／許可リスト

UPnP

禁止／許可リスト

オプション ☐ 許可リスト ☐ 禁止リスト

IPアドレス to

追加

No.	IPアドレス	アクセス	削除
-----	--------	------	----

適用 リセット

ま

たは許可リストを有効にします。いずれの場合も、本当に有効にするかどうかを確認するウィンドウが表示されます。その後、禁止または許可する IP アドレスを入力してください。

禁止リストを有効にした場合、登録された IP アドレスから本製品へのアクセスが禁止されます。

許可リストを有効にした場合、登録された IP アドレスからのみ本製品へのアクセスが許可されます。

2. UPnP

禁止／許可リスト

UPnP

UPnP

有効 ☒

UPnP名 DS-20107a9e767c (最大文字数: 32 文字)

適用 リセット

UPnP の有効／無効を切り換えられます。また UPnP で使用するコンピュータ名を変更できます（半角英数で最大 32 文字）。

5.5.3 DDNS

DDNS

DDNS

サービス ☐ ipcam.jp ☐ nwcam.jp ☐ DynDNS ☐ no-ip

有効 ☐

更新サーバー (最大文字数: 64 文字)

ユーザ名 (最大文字数: 128 文字)

パスワード (最大文字数: 64 文字)

Host Name (最大文字数: 128 文字)

有効 ☐

更新サーバー (最大文字数: 64 文字)

ユーザ名 (最大文字数: 128 文字)

パスワード (最大文字数: 64 文字)

Host Name (最大文字数: 128 文字)

DDNS (Dynamic Domain Name Service) とは、固定 IP を使ってインターネット経由で DIGISTOR にアクセスする代わりに、動的 IP とドメイン名とをリンクさせて、そのドメイン名を使ってアクセスするサービスです。

DIGISTOR が対応している DDNS は、①ipcam.jp、②nwcam.jp、③DynDNS、④No-IP です。

DDNS の設定を行う前に、必要な情報を DDNS プロバイダーから取得してください。

DDNS

DDNS

サービス ☒ ipcam.jp ☐ nwcam.jp ☐ DynDNS ☐ no-ip

有効 ☒

更新サーバー (最大文字数: 64 文字)

ユーザ名 (最大文字数: 128 文字)

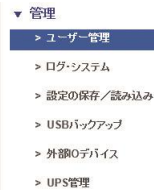
パスワード (最大文字数: 64 文字)

Host Name (最大文字数: 128 文字)

例： ipcam.jp のサービスを利用している場合、「サービス」の ipcam と「有効」にチェックを入れ、プロバイダーから与えられた情報（ユーザー名：001、パスワード：abcdefgh、Host Name：digiever）を入力してください。DIGISTOR は ipcam.jp の DDNS サーバーに動的 IP アドレスの情報を送り、「digiever.ipcam.jp」のドメイン名とリンクさせます。ユーザーは IP アドレスに関係なく、「digiever.ipcam.jp」で NVR にアクセス可能になります。

5.6 管理

「管理」設定ページでは、ユーザーの追加や権限の編集、NVR に保存されているログの確認、バックアップや接続している外部機器の管理を行うことができます。



5.6.1 ユーザー管理

「管理」メニューから「ユーザー管理」を選択してください。DIGISTOR には複数のユーザーが同時にアクセスできます。工場出荷時は管理者である「admin」のみユーザーとして登録されています。管理者はユーザーを新規作成できます。ユーザーには「Power User」と「User」の2グループがあり、「Power User」は一部の設定変更が可能です。「User」も設定ページへ移動できますが自分のパスワードしか変更できません。

1. ユーザーの作成

●Power User

ユーザー名（半角英数字 16 文字以内）とパスワード（同）を入力し、「グループ」メニューから「Power User」を選択してください。ライブ映像と録画再生に関する権限は、自動的に全てのカメラに対して適用されます。

「適用」をクリックしたらユーザーが作成され、「リスト」に表示されます。

●User

ユーザー名（半角英数字 16 文字以内）とパスワード（同）を入力し、「グループ」メニューから「User」を選択してください。ライブ画像と録画再生に関する権限を設定します。チェックに入ったカメラのみ、ライブ映像及び録画再生が可能になります。

「適用」をクリックしたらユーザーが作成され「リスト」に表示されます。

ユーザーの作成

ユーザーの変更

パスワードの変更

詳細設定

ユーザーリスト

No.	名前	グループ	ライブ映像	PTZ	IO	マルチサーバー	録画再生
1	pu01	power user	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10, 11,12,13,14,15,16	O	O	O	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10, 11,12,13,14,15,16
2	u01	user	1	O	O	O	2

ユーザーの作成

ユーザー名

パスワード

グループ

パスワード

グループ

ライブ映像

PTZ制御

IO制御

マルチサーバー

録画再生

2. ユーザーの変更

「ユーザーの変更」タブをクリックしてください。

Userの権限変更を行う時は適宜変更して「適用」をクリックします。

登録しているユーザーを削除する時はリストで選択して「削除」をクリックします。

ユーザーの作成

ユーザーの変更

パスワードの変更

詳細設定

ユーザーリスト

No.	名前	グループ	ライブ映像	PTZ	IO	マルチサーバー	録画再生	削除
1	pu01	power user	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10, 11,12,13,14,15,16	O	O	O	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10, 11,12,13,14,15,16	Delete
2	u01	user	1	O	O	O	2	Delete

3. パスワードの変更

「パスワードの変更」タブをクリックしてください。

「ユーザー名」で変更したいユーザー名を選択し、新しいパスワードを入力します。

ユーザーの作成 ユーザーの変更 **パスワードの変更** 詳細設定

パスワード設定

ユーザー名: admin

新規パスワード: (最大文字数: 15 文字)

パスワードの再入力:

適用 リセット

5.6.2 ログ・システム

「管理」メニューから「ログ・システム」を選択してください。必ずディスク・ボリュームを作成してから本機能をお使いください。

DIGISTOR が保存するログには次の 6 種類があります：ハードウェア・ログ、NVR ログ、イベント・ログ、現在のユーザー、ユーザー履歴、アクセス履歴。

●ハードウェア・ログ

RAID の作成、RAID の削除、RAID の修正、CPU、ブザー、ファン、システム、センサー、USB に関する情報が記録されます。

ハードウェアログ

現在のユーザー

NVRログ

ユーザー履歴

イベント・ログ

アクセス履歴

ハードウェア・ログ・リスト

日付

All

レベル

All

ページ

1

<<

<

>

>>

表示件数

20

Save

日付と時間	レベル	メッセージ
2014/03/19 21:47:53	notice	[HW] enable buzzer notice.
2014/03/19 21:47:53	notice	[HW] enable fan control.

●NVR ログ

タイム・ゾーン、夏時間、システム、ファームウェアのアップグレード、IP 設定、録画ファイルのエクスポート、ストレージに関する情報が記録されます。

ハードウェアログ
NVRログ
イベントログ

現在のユーザー
ユーザー履歴
アクセス履歴

NVRログ

日付All
レベルAll
ページ1
<< < > >>
表示件数20
Save

日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	メッセージ
2014/03/21 14:09:27	notice	admin	58.191.231.68	[NVR] Remote Playback Export to file.
2014/03/21 14:09:27	notice	admin	58.191.231.68	[NVR] Remote Playback Export during 2014-03-21 15:00 to 2014-03-21 16:00.

●イベント・ログ

カメラの接続、カメラの接続不良、デジタル入力、モーション検知、ストレージ使用制限超過などの情報が記録されます。

ハードウェアログ
NVRログ
イベントログ

現在のユーザー
ユーザー履歴
アクセス履歴

イベント・ログ

日付All
レベルAll
カメラAll
ページ1
<< < > >>
表示件数20
Save

日付と時間	レベル	番号	メッセージ
2014/03/25 12:48:59	notice	1	[Event] Motion detected.
2014/03/25 12:45:26	notice	1	[Event] Motion detected.

●現在のユーザー

現在、NVR にログインしているユーザーの情報を表示します。

ハードウェアログ
NVRログ
イベントログ

現在のユーザー
ユーザー履歴
アクセス履歴

現在のユーザー

日付と時間	アカウント	IPアドレス	メッセージ
2014/03/25 12:51:40	admin	192.168.0.51	[CurUSER] Access /cgi_management_log_currentuser.htm

●ユーザー履歴

NVR にログインしたユーザー情報が記録されます。

ハードウェアログ

NVRログ

イベント・ログ

現在のユーザー

ユーザー履歴

アクセス履歴

ユーザー履歴

日付AllレベルAllページ1<<<>>>表示件数20Save

日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	方式	メッセージ
2014/03/25 12:51:40	info	admin	192.168.0.51	HTTP	[USER] Login
2014/03/25 12:51:39	info	admin	192.168.0.51	HTTP	[USER] Login
2014/03/25 11:59:32	info	admin	192.168.0.51	HTTP	[USER] Login

●アクセス履歴

SAMBAやFTPを使ってNVRにアクセスした情報が記録されます。

現在のユーザー

ユーザー履歴

アクセス履歴

接続ログ

日付

All

レベル

All

ページ

1

<<

<

>

>>

表示件数

20

Save

日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	方式	メッセージ	状態
2014/03/24 18:35:02	info	admin	192.168.0.51	SAMBA	[SYSCON] Login	Pass
2014/03/24 18:05:07	info	admin	192.168.0.51	SAMBA	[SYSCON] Login	Pass
2014/03/24 17:55:40	info	admin	192.168.0.51	FTP	[SYSCON] Login	Pass

ログ・ファイルのエクスポート

ログ・ファイルをエクスポートして保存することができます。ログごとにファイルが作成されます。html または txt 形式でエクスポートできます。

現在のユーザー

ユーザー履歴

アクセス履歴

接続ログ

日付All

レベルAll

ページ1

<<

<

>

>>

表示件数20

Save

日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	方式	メッセージ	状態
2014/03/24 18:35:02	info	admin	192.168.0.51	SAMBA	[SYSCON] Login	Pass
2014/03/24 18:05:07	info	admin	192.168.0.51	SAMBA	[SYSCON] Login	Pass
2014/03/24 17:55:40	info	admin	192.168.0.51	FTP	[SYSCON] Login	Pass

5.6.3 設定の保存と読み込み

「管理」メニューから「設定の保存／読み込み」を選択してください。

▼ 管理

> ユーザー管理

> ログシステム

> 設定の保存／読み込み

> USBバックアップ

> 外部HDDデバイス

> UPS管理

● 設定の保存

ボリュームとフォルダーをメニューから選んで保存先を決めます。またファイル名（拡張子は cfg）を決めてください。

設定を保存	設定の読み込み
設定を保存	
ボリューム	/dev/md0
フォルダー	Public
ファイル名	cfg
備考 カメラ設定、録画設定、イベントと動作の設定、eメール設定、サーバー設定が保存されます。	

注意：設定ファイルにはカメラ設定、録画設定、イベントと動作設定、Eメール設定、サーバー設定が含まれます。設定ファイルはNVR内の共有フォルダーに保存されます。Windows ネットワークまたはFTP サービスを使えば、PC から設定ファイルにアクセスできます。

● 設定の読み込み

設定ファイルを読み込むことで、別のNVRの設定をコピーすることができます。

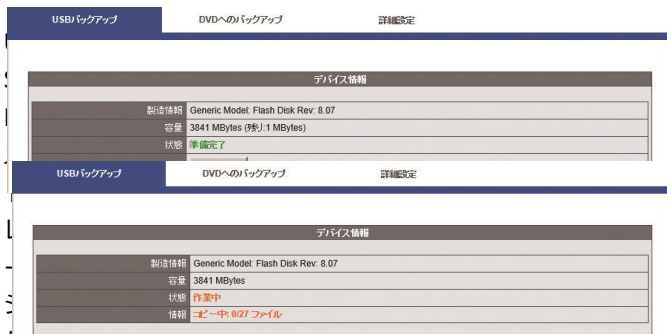
設定を保存	設定の読み込み
設定の読み込み	
設定方法	<input checked="" type="radio"/> 初期設定に戻す <input type="radio"/> 設定の読み込み
ボリューム	/dev/md0
フォルダー	Public
ファイル名	cfg
備考 カメラ設定、録画設定、イベントと動作の設定、eメール設定、サーバー設定を読み込みます。	

「初期設定に戻す」を選択すると、カメラ設定、録画設定、イベントと動作、Eメール設定、サーバー設定が初期値に戻ります。

「設定の読み込み」を選択して cfg ファイルを選択して「適用」をクリックすると、設定が書き換えられます。

1. USB バックアップ

USB ストレージを NVR 本体正面の USB ポートに接続すると、「デバイス情報」に USB ストレージの情報が表示されます。



「準備完了」になると、USB インディケータは青色で点灯します。バックアップを開始すると、状態が「作業中」となり、情報にはコピー中のファイル数が表示されます。

USB ストレージを初期化する時は「フォーマット」ボタンをクリックします。

注意：USB バックアップ・ボタンを有しているのは DS-2000 シリーズ、DS-4000 シリーズ、DS-4200 Pro シリーズ、DS-4200-RM Pro シリーズ、DS-8200-RM Pro シリーズです。

注意：録画ファイルとともに DIGIPlayer と DIGICheck がダウンロードされます。

2. DVD へのバックアップ

USB 接続できる DVD ドライブを NVR に接続し、正常に認識されると、USB インディケーターは青色で点灯して「状態」が準備完了になります。



注意：DVD ドライブに対応しているのは DS-4200 Pro シリーズ、DS-4200-RM Pro シリーズ、DS-8200-RM Pro シリーズのみです。

注意：DVD ドライブ内に DVD メディアが挿入されていない時は USB 機器として認識されません。

注意：DVD ドライブに対してバックアップが行われると、録画ファイルとともに DIGIPlayer と DIGICheck が DVD にコピーされます。

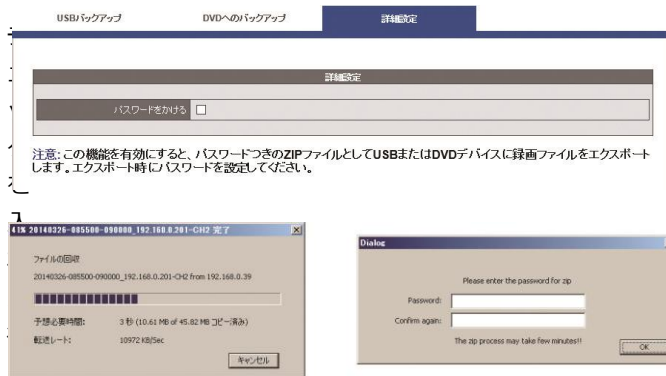
注意：ロジテック INA ソリューションズ株式会社ポータブル DVD ドライブ「LDR-PMG8U2LBK」で動作確認を行っております。

3. 詳細設定

録画ファイルをエクスポートする際、パスワードによる保護を行います。録画ファイルはパスワードつき zip ファイルに圧縮されます。

注意：この機能に対応しているのは DS-4200 Pro シリーズ、DS-4200-RM Pro シリーズ、DS-8200-RM Pro シリーズのみです。

注意：パスワードによる保護を行えるのはエクスポート時のみです。バックアップ・ボタンを用いた時はパスワードによる保護は行われません。



「適用」をクリックしてください。
エクスポート（左上）が完了するとパスワードを入力するためのウィンドウ（右上）が表示されます。
zip ファイルを解凍する時、この時に決めたパスワードを使用してください。

5.6.5 外部 IO 機器

ネットワーク・リレーなどの IO 機器を NVR に登録して、その外部入出力を利用することができます。「管理」メニューから「外部 IO 機器」を選択してください。

- ▼ 管理
 - > ユーザー管理
 - > ログ・システム
 - > 設定の保存／読み込み
 - > USBバックアップ
 - > 外部IOデバイス
 - > UPS管理

機器名称、IP アドレス、ユーザー名、パスワードを入力して「検出」をクリックしてください。ネットワーク上に設定した機器があれば登録されます。「メーカー」と「型番」は自動で表示されます。「適用」をクリックして保存します。

デバイス設定

イベント

デバイス設定

デバイス番号	Device 1		
デバイス名	<input type="text"/>		
IPアドレス	<input type="text"/>	ポート	80 <input type="text"/>
管理者名	<input type="text"/>	パスワード	<input type="text"/>
メーカー	<input type="text"/>	型番	<input type="text"/>

適用リセット検出

リスト

No.	デバイス名	IPアドレス	ポート	メーカー	型番	削除
1			80			

機器の名称、IP アドレス、ポート番号、メーカー名、型番が表示されます。
登録された機器に応じて、「イベント」タブ内にイベント・リストが表示されます。

5.6.6 UPS 管理

UPS を用いて NVR の電源を管理できます。
「管理」メニューから「UPS 管理」を選択してください。

- ▼ 管理
 - > ユーザー管理
 - > ログ・システム
 - > 設定の保存／読み込み
 - > USBバックアップ
 - > 外部IOデバイス
 - > UPS管理

注意: DIGISTOR シリーズが対応している UPS はユタカ電機製作所の常時インバーター・モデル「UPS510SS」と「UPS1010SS」です。

UPS情報

UPSデバイスが存在しません。

UPSデバイスの情報	
メーカー	YEC
型番	UPS510SS
電源の状態	ON
バッテリー容量	100%
推定バッテリー保持時間	

UPS管理の設定	
UPS有効	<input checked="" type="checkbox"/>
UPSのバッテリー容量が ____% になったら ____% 時、NVRは自動的にシャットダウンを行います。	

適用

● UPS 機器情報

メーカー名、型番、AC 電源の状態、バッテリーの容量、予想保護時間が表示されます。予想保護時間はモニタリングのみ行っている状態が基準です。

● UPS 管理設定：スマート・シャットダウンと復旧

「有効」にチェックを入れ、UPS のバッテリー容量がどれだけになったら NVR がスマート・シャットダウンを行うのか設定します。この機能を用いると、停電になり、UPS のバッテリーが指定の容量に達しても停電が復旧しないと、NVR はスリープ・モードでシャットダウンします。UPS のバッテリー容量が指定値を上回ると（＝停電から復旧すると）NVR は自動的に起動します。

5.7 システム

5.7.1 デバイス情報

「システム」メニューから「デバイス情報」を選択します。

▼ システム

➤ デバイス情報

➤ システムのアップグレード

➤ 言語

➤ 日付と時間

➤ ブザー

➤ 再起動とシャットダウン

● システム情報

オペレーティング・システム、OS バージョン、NVR バージョン、CPU、ネットワーク・アダプター、MAC アドレス、ネットワーク・フロー情報を表示します。

位置確認：

ボタンをクリックすると 3 秒間、NVR 本体からブザーが鳴ります。複数の DIGISTOR を運用している時など、位置を特定するのに便利です。

情報	
型番	NVR-4116
ファームウェアバージョン	2.1.1.50-1
MACアドレス	20:10:7a:ae:76:7c, 20:10:7a:ae:76:7d
OS	Embedded Linux
OSバージョン	Linux version 3.2.29
CPU	Intel(R) family
ネットワークアダプター	Gigabit Ethernet Card 10/100/1000 Mbps
位置確認	位置確認

ロージャー情報

CPU の温度、ファンの状態などが表示されます。

注意：NVR の動作環境は 0～40 度です。

Temperatures	
CPUの温度	49 °C
VRMの温度	48 °C
システムの温度	38 °C
ファンの回転速度	
CPUのファン	1708 RPM
システムのファン 1	952 RPM
システムのファン 2	1014 RPM

5.7.2 システムのアップグレード

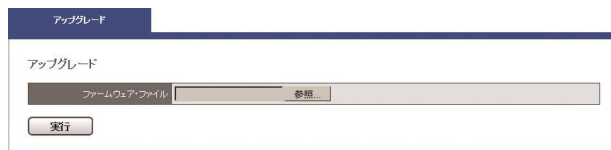
ブラウザを用いて、またはローカル・ディスプレイを操作して、NVR のファームウェアをバージョン・アップできます。

注意：お使いの NVR のシリーズに応じたファームウェア・ファイルをご用意ください。

注意：バージョン・アップは必ず順番に行ってください。バージョンを飛ばしてアップデートするとカーネル情報が更新できず、システムが正常に起動しないことがあります。また 40 台のバージョンから 50 台にアップデートする時は、ディスク・ボリュームを一度削除して再作成する必要があります。

1. ブラウザを用いたアップグレード

- (1) 新しいバージョンのファームウェアを www.digiever-j.com からダウンロードして、PC に保存してください。
- (2) ダウンロードしたファイルを解凍します。
- (3) 「設定」ページへ移動し、「システム」メニューから「システムのアップグレード」を選択します。
- (4) 「参照」をクリックして保存したファームウェア・ファイルを指定します。



- (5) 「アップグレード」をクリックしてファームウェアの更新を行います。システムのアップグレードが完了したら NVR は自動的に再起動します。「機器情報」メニューの「システム」から、NVR のファームウェア・バージョンを確認することができます。

2. ローカル・ディスプレイを操作してのアップグレード

注意：ローカル・ディスプレイでのアップグレードは DS-8200-RM Pro シリーズ、DS-4200-RM Pro シリーズ、DS-4200 Pro シリーズ、DS-2100 Pro シリーズ、DS-1100 Pro シリーズでの対応となります。

- (1) 新しいバージョンのファームウェアを www.digiever-j.com からダウンロードして、PC に保存してください。
- (2) ダウンロードしたファイルを解凍して USB ストレージに保存します。

注意：USB ストレージは FAT32 ファイル形式でフォーマットしてください。また作業を円滑にするため、「update.bin」ファイルのみ保存した状態にしてください。

FAT32 ファイル形式のフォーマット方法：

- I. 「マイコンピュータ」を開きます。
- II. USB ストレージ（フラッシュ・メモリー）を選択、右クリックして「フォーマット」を選択します。
- III. 「ファイル・システム」の「FAT32」を選択します。
- IV. 「開始」ボタンをクリックしてフォーマットを実行します。
- (3) NVR にローカル・ディスプレイと USB ストレージを接続します。
- (4) NVR とローカル・ディスプレイに電源を入れて NVR にログインします。
- (5) 「設定」ページへ移動し、「システムのアップグレード」を選択します。接続した USB ストレージの「状態」が「準備完了」の表示ならアップグレードを実行できます。
- (6) システムのアップグレードが完了したら NVR は自動的に再起動します。「機器情報」メニューの「システム」から、NVR のファームウェア・バージョンを確認することができます。

5.7.3 言語

「システム」のメニューから「言語」を選択します。UI で表示する言語を選択して「適用」をクリックしてください。「AUTO」を選択すると、アクセスしている PC の情報に基づいて表示言語を自動選択します。

5.7.4 日付と時間

「システム」のメニューから「日付と時間」を選択してください。

- ▼ システム
 - > デバイス情報
 - > システムのアップグレード
 - > 言語
 - > 日付と時間
 - > プザー
 - > 再起動とシャットダウン

●セッティングアップ

手動で設定する時は年月日と時刻を選択して「適用」をクリックしてください。

●タイム・ゾーン

使用している地域のタイム・ゾーンを選択します。また夏時間（サマータイム）が導入されている時は、同オプションを有効にします。

NTP サーバーと同期を取る場合は NTP サーバーの IP アドレスを設定します。

設定 タイムゾーン

タイムゾーン設定

タイムゾーン	(GMT+09:00)Osaka, Sapporo, Tokyo
<input type="checkbox"/> 夏時間自動で調整する	
外部のNTPサーバーと時刻同期	time.stdtime.gov.tw
NVRにビルトインされたNTPサーバー	192.168.0.39

適用 リセット

NVR にビルトインされた NTP サーバー：

NVR を NTP サーバーとして利用することができます。システム内の全ての機器で時刻同期を行う場合に役立ちます。同メニューに表示された IP アドレスを NTP サーバーのアドレスとして、同期させたい機器を設定してください。

5.7.5 ブザー

「システム」のメニューから「ブザー」を選択してください。

- ▼ システム
 - > デバイス情報
 - > システムのアップグレード
 - > 言語
 - > 日付と時間
 - > ブザー
 - > 再起動とシャットダウン

警告時に使用するブザーのオン／オフを選択できます。オフにすると、デジタル出力時の動作である「ブザー」が実行されなくなります。

注意：「USB バックアップ・ボタン」の長押しでブザーを停止することができます。

ブザー

ブザー設定

ブザー警告 ☒ 有効 ☐ 無効

適用 リセット

5.7.6 再起動とシャットダウン

「システム」のメニューから「再起動とシャットダウン」を選択してください。



「再起動」を選んで「適用」をクリックすると本体が再起動します。
「シャットダウン」を選んで「適用」をクリックするとシャットダウンします。